**入營に因る失業** 

京解を理べてるないと語り和学園師を肯定した、而して選出氏は長卵く縦ひに襲する取舎をたのは蔣介石氏個人のみで若し蔣大のに襲身が戯に實現するものとせば、あるものをは考べるは、一人のみで若し蔣大の大きのとは考べられないともあるものをは考べられない。

原を施しては如何、同地の継続 カ上院特別談會は本日 B線 会 アラスカ諸島に對し悉 く要塞設 アラスカ諸島に對し悉 く要塞設

は日本の意の健に受されるとは日本の意の健に受されると比律資

天氣豫報

防止具體案作成

兵役審議會幹事會で

題を切抜ける自信のりやとの懐疑一節言した
・ 東京十一日韓電通一部口首相は一的質問が在つたに難し政府は緊急では、 
・ 東京十一日韓電通一部口首相は一的質問が在つたに難し政府は解析であると確信的語言を切抜けて東京十一日韓電通一部口首相は一的質問が在つたに難し政府は解析であると確信的語言を切抜ける自信のりやとの懐疑一節言した

A R 立せしめ雷波の時局を切抜ける自信があると確信的の時局を切抜ける自信があると確信的の時局を切抜け

この頃頻發する

電でフランス政府は福軍協定につ 能して司長記まして 15mm 1元、その間に佛伊兩國は海軍協定 に関する交渉を進める に関する交渉を進める に関する交渉を進める は 15mm 1元、その間に佛伊兩國は海軍協定

製鋼所位置

大道を進む、ただ障害物は排除す有害なれば從来の如く整理緊縮のからて政策転換など國家のため

子質議員豫選

では多くの人から色々の意見もいては多くの人から色々の激見もいては多くの人から色々の意見もいては多くの人がら色々の意見もいては多くのできます。

大觀

小觀

陳情聽取

ランスは本年十二月迄新隆一信ずると述べた

日午後二時より本部に政務調査總一司会館は野報の如き確定の巡視を東京十一日發電通』民政黨は十 【長春特電十一日設】劉鴻鵬東軍民政政調總會

るのみとの

小坂次官の動靜

日内職に認むのみである。 「特別なるとに努力されんことを選集して整理系統を転換。 「おっことに努力されんことを選集。」 「おっことに努力されんことを選集。」 「おっことに努力されんことを選集。」 「おっことに対して、「おいった。」 「おいった。」 「おいった。 「もった。 「もった。

けふ旅順を視察す

ー政府に左の賢書を設つ

何に依り三ヶ月内に協定の成立を間して同長官はイタリーの態度如

學校騒動の對策

主事を嚴選し取締を嚴にす

を総数なる警諜と認め容易に を総数なる警諜と認め容易に を機数なる警諜を回まけてある

修正案可決

上院の特別議會

がであらう 締結して來る事を期待しなかつ たであらう

ソン氏の

上し来り和平運動をつまけてゐる氏もこれについて蔣氏の代表が北

等における使用人の人気人臓に依着を対象を受験に言及動及び民間会社を関係して民間会社といる。

は粉事會にて作成する事となったれを覧行するに決しこれが具體を

代の極めて不利ではくしたの極めて不利ではくしたの極めて不利ではくした場合の如き内容を有いたのを見られている。

極めて心理で少くと、徐州以しかし右の和平縣件は蔣介石

氏の修正案の要決に入り五十四號 中の修正案の要決に入り五十四號 大の修正案の要決に入り五十四號 大の修正案の要決に入り五十四號 大の修正案の要決に入り五十四號 大の修正案の要決に入り五十四號 大の修正案の要決に入り五十四號 大の修正案の要決に入り五十四號 大の修正案の要決に入り五十四號

の如し

**教部殿殿會席上灣口** 

四日首相の演説を興奮

條約の批准要請の手續きは着々 に対した結果と思ふ、ロンドン に対した結果と思ふ、ロンドン に対した結果と思ふ、ロンドン

はそもない関内に轉換論があるといは、 大き (本) 大き (本) の いまりといは 大き (本) の いまりといは 大き (本) の いまりといは (本) 大き (本) の いまり (本)

ものが多いこれを回復するには 思ふる爲め部署を定め計量を立 思ふる爲め部署を定め計量を立

時局切拔

けには

と 『天演特 元十一日登』 戦争の長い 人は南記の王一等氏等を除き南京 下部 大学 では武がの 本の が では 大学 では では では では では では では では できる との か 山西 では できる との か い ことを 見り でする との でする できる との が い ことを 見り でする との の か い ことを 見り でする との の の 如 く 上海 に 南北 か し の か 山西 では できる との か い ことを 見り できる との できる とを できる との との できる との との できる との できる との できる との でき

をす しゃうと主張しついあることが保 あ しゃうと主張しついあることが保 にお へられてある、その成がは勿識別 にお へられてある、その成がは勿識別 にお へられてある、その成がは勿識別 とす しいて 種の運動がつよけられてあることが保 では各方面より相當注目されてゐることが保

大学部は歌曲連絡会談による直通小である。 成功した、一個の重量三百五十キ ア間は四・三三、リガ間五・〇一 米市である。

自信がある

首相、與黨幹部に斷言

のか山西配政客から 所介石氏は武力解決の容易でな 所介石氏は武力解決の容易でな いことを覺り 一、南京政府の保全 二、第氏の下野外選 三、直側軍職の保全 平通電を求め以て時局解決の階 格とすることを運動する一方馮 構とすることを運動する一方馮 構とすることを運動する一方馮

佛伊の海軍協定

より覺書を送る

个景氣打開策は

を轉換しては國家の為め有害な を歩み進むべき道は只一つである、進行の企業はなべき道は只一つである、進行の途中に随時物が有れ では多くの人から色々の東島間 間いたが一つもある、健つて地方の では多くの人から色々の東島間 では多くの人から色々の東島間 ではあるが主なるものもあり又地 では多くの人から色々の東島間 ではあるが主なるものもあり又地 ではあるが主なるものもあり又地 ではあるが主なるものもあり又地 ではあるが主なるものもあり又地 ではあるが主なるものは世界的 ではあるが主なるものは世界的 ではあるが主なるものは世界的 ではあるが主なるものは世界的 ではあるが主なるものは世界的 ではあるが主なるものは世界的 では大正七、八年の

製鋼所最後陳情

州内設置同盟會から

會を開き昭和製鋼所設置の候補地

緊縮、産業合理化に限る

一師は既に徐州に到臘したこれにの精緻を以て更に津浦線の総攻撃線へ出動を命じた、蔣氏はこれ等を開始するものゝ如く金漢郡氏の

和平運動と反応

蔣介石氏の下野が實現すれば

必らず

しも反對せず

色々意見あるが

一も感心せぬ

濱口首相の演説要旨

凸版。銅版 久保田

利得を戦ふとそれが顕著となり 観光を戦ふとそれが顕著となり

9

走 馬

かの量見は慈々悪い。 若し更に此利得か が定が善い、若し更に此利得

所も無理不法な利得競争で、 一般から云ふと、當今に於ける支 ならざるものに於てをやで、これらざるものに於てをやで、これんや 0

過去から東支鎌は、崩鐘に跳し

るとなつては 競争よりも 協定に

み疑つて顧みざるものがある、

國間恢復は斯

てはなられ、其態備や奈何に。

適切なる對應策を實行

政府、與黨幹部懇談會の席上で

るか、然り、利得には競爭より 野なら離せないと云ふ度胸を、 野なら離せないと云ふ度胸を、

中央軍湖南を南

津浦線方面に

增兵

反蔣派作

戦を練る

ソン氏は ツン氏は 英に提出した原案及び日英の回 英に提出した原案及び日英の回 要求すべきでこれを爲さざるは 上院の勇氣なきを示すものなり

**濱口首相等方針說明** 

やないの

実那の閾轍恢復には同情を表す恢復と心得るものと如きがある 者を凹まさんと試み、之を関権

しに云ふ版からも、

歐洲聯盟ご

終り十一日八時三十分長春發列軍といって軍隊側ならびに官民多数に見

わが方針

芳澤大使に訓電

打合ゼ

市重要問題の

を確むべく十一日午前九時愛赴底。 ※井大連市助役は目下観察中である記察时市際住宅の十四萬間市假 簡単、商工際校の夜間甲種淸楽」である。 ※井大連市助役は目下観察中である。

それで選次の南北戦が起って居民党の假蔵を被ぶって、斯ることを爲す職養者も出て來る、國民党は民衆に默し專職だと云ひ民党は民衆に默し專職だと云ひ 大統領に對し公衆の利益と一致大統領に對し公衆の利益と一致

正々望々の職立であらればなら 関郷性選ずると喧嘩となる、興 の関郷性優は、そんなことでは 関カの職業である、 民業感ぶれした真似をすべきじ民業の顕清を必要とし、徒に國民族の顕清を必要とし、徒に國

本の涌歌に於ける特徴に、不圖すると支那から利得競争が起ら この疑ひを有つと、そこから出頭はどうかと疑はれんでもない 東四省首脳に斯んな量見遠ひは東四省首脳に斯んな量見遠ひは

膠濟線列車

治線 臓一酸 一酸 一酸 一酸 一酸 一般 で来る二十日頃 一般 で来る二十日頃

地が變れば、

した

山西地方次長巡視

辦法交涉

投票であつたがハイラム、ジョンといふもので本介護最初の試験的

住居は東京牛込市ケ谷仲の町四四日田帆の香港丸で闘京すと、四日田帆の香港丸で闘京すと、十 所長)十日午後八時半着列車に 

氏(愛知縣商品陳列所

**心がに十一日出競技** 

はいた。 はいた後意見交換の結果変量を挙げ した後意見交換の結果変量を挙げ で呼を研究するに決し午後五時数

知麼部の後任として大連署高等 係に轉任、十一日市内各方面を 係に轉任、十一日市内各方面を 係に轉任、十一日出外方的る丸にて内地へ 十一日出外方的る丸にて内地へ 一月出外方的る丸にて内地へ 一月出外方的表別。同上 全頭工儀一氏(高家) 同上 全頭工機一氏(高家) 同上 金融田将氏(前吾妻鬻長) 同上 金融田将氏(前吾妻鬻長) 同上 四川氏(名古屋市産業部長四川氏(名古屋市産業部長四川氏(大連警察署司法係宗正氏(大連警察署司法係宗正氏(大連警察署司法係宗正氏(大連警察署司法係宗正氏(大連警察署司法係

物開始

歐亞直通小荷

別青名人澤市はゴクリと望録をの腕の下に繰りついてゐるのだ――と望録をにはせながら、いま自分 どかりと

墓る掛び呼

新婚。離婚。再婚史

◇コンタルの結婚哲學……
◇哲學で破婚したジョンギル
◇哲傳等で民輕娘ギャーロッ
◇超露出 狂クララ・ボウ……
◇超露出 狂クララ・ボウ…… 自殺者·情死者

書置艷文縣

(神出) 犯人 人探偵腕競へ『鷺魚

一覧とで歌舞との歌音に存する。 一切日超、整珠整備の政策も相當 をはれて来た響。 世際は失っ が見が現はれて来た響。 世際は失っ が見が現まれて来た響。 世際は失っ が見が現まれて来た響。 世際は失っ が見が現まれて来た響。 世際は失っ

の計値か三十銭(温鮮)頭線が知川崎の博文的 諸炎維志 号

**李宮さまは** 

「一割以上値下はならぬ」の一項削除

大連署保安係から

御避暑

高松宮兩殿下

十日の御動静

酸列車で腫原御用取に側避暑あ

葉山御用邸へ照宮標御同伴

間違ない

人日活食堂の談

京軍艦學校に入學近く上京す

けふ罹病兵

淋しく

松原倫抵職合會主事は

かって、自由亭の方が殊しても何とも申澤なく恐

## 何とも申譯ない ハムが惡かつたらしい 請負つた自由亭恐縮して語る

覚髪のため新庇大尉に同自動車一麼を拠行、大連に派遣したが、 関産品奨製の整隆しき指柄、陸軍省ではTGC 砂町用六輪自動車

お盆を迎ふ貧困兒童

重に

浴衣を一

一萬四

失業者家庭に仕立

を依頼して

閣僚夫人

八らの美學

軍用自動車の性能試験

氣づいて食べ 5

右に就いて常線座へ探電千人分を 何をも申譯ないことであれば九 日の守前一時からつくり始めた のです、扇風機をかけ乍らやつ たのですが悪い日でござんして

ペムが悪かつた標です、材料も で責任は全く私どもにございま で責任は全く私どもにございま に参りましたが何とも申譯のな に参りましたが何とも申譯のな





日 支兒童の交驩

自分は着任以來過去二ケ年の間自分は着任以來過去三百八十四名に概ね一回宛患者を內地に送ってゐる。その間常に感じた事はてゐる。その間常に感じた事は 母家利子において、日本部小野校 要家利子において、日本部小野校 要家利子において、日本部小野校 で、日本部小野校並びに伏見 を放ったけ、日本部小野校 を変し、日本部小野校 を変し、日本部小野校 を変し、日本部小野校 を変し、日本部・野校 を変し、日本・野校 を 【金澤十日 酸塩通】金澤市に本社

錦華紡績減給 社長を筆頭に

伏見臺公學堂の女生徒達が 科二年女生徒の交融でを開催、 護い、題る総會であった

けふ夏家河子で日本橋校と 等は補貨、三等も八分通りの乗客中で、一場のた全國よりの知名士で一、二十一日出航のうらる丸は見本市で 愛願ぶり 出來る、州内で最も有望なものいだだけで州内産業の台理化が

七月十十二日の御奉仕出る日本のの

間日五

欧州スポーツの人祭は

御中元御贈答用

と無弧い意見を持つてさきに来遍した九州大學教授西川虎音博士も 固念につくが船中で語る 日内通り開東長官にも會つたし 三浦内務局長にも面會できた、 そして私の方からも抱負を述べたり意見が吐いたりしたが。何 たり意見が吐いたりしたが。何 れもよく四解して貫へて好かつ た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州 た、一年に一度位来連字るが州

**麵類業者に総通す** · 建五一〇九青 林 洋行東舗 本 進 呈

うどん。そば。値下

からね 0

一杯の有様何れもこの強しい大趣。 一杯の有様何れもこの強しい大趣。 大て晴々しい踏つき、それに補脚をとこたま物を、大て晴々しい踏つき、それに補脚。 大て晴々しい踏つき、それに補脚。 総めな運輸手生活の裏面をえがいた公判が十一日大連地方決院長島 大公判が十一日大連地方決院長島 では市内 伏見温泉の 同情の判決

から各署に反物を配給して町村、青年順等と聯絡をとつて仕 立てさせる事となった ら定衆離睦内地へ向った。

見本市代表等

満員の出

船

西川博士、保々氏ニも内地へ

の一助とも仕標と云ふのでその仕立てを失災家庭の主綿等に依頼する事となり、十日響映廳の人し一ツ身、四ツ身の溜物二萬四千枚を作り貴国家庭に贈る事となり、且つ失業家庭敦濟

年少女のため瀬口首相夫人始め各時候、鈴木翰長、丸山鬱硬懸に等の各夫人が浴衣一萬反を『東京十一日愛電温』お気を迎ふるのに不景樂のため新しいものも着られない類の異な幼少

けふの商船うらる丸 致でやり通されば嘘だと思ふ ため既呼合衆の交附不能者左肥三 より執行されるが、輸出先不明の より執行されるが、輸出先不明の 大通における陽東耶の翻路野呼は は民政署兵事係において令状を預十一名に達してゐる。心窩りの者 合はない」と頭頭り一圓五十錢を 収れるものを誘索するに何も不都 は型がよすぎるといへば「決弾上 くないと道識が膨れるものだと法

大勝戦はいよく今日から三日間を地で開かれるが、日程は 十一日シングルス太田對ステットが、ガスリン本十三日シング ルゴ、ガスリン本十三日シング ルゴ、ガスリン本十三日シング ルゴ、ガスリン本十三日シング カツア欧洲ゾーン日本野イタリー 日伊決勝戰 デ盃歐洲ゾー

神戸黒庭湾船台資金社所属果庭丸 一日午前十時の講際時を利用して 一日午前十時の講際時を利用して 一日午前十時の講際時を利用して 黑姬丸坐洲 満潮に漸く離洲 田と海町五六美術装飾に とのは共同郷所者たる北山後 を相手取つて十一日小樹子 を加が上野方に同居中同家に で既に抵置に入つて居る金庫(時 で既に抵置に入つて居る金庫(時 で既に抵置に入つて居る金庫(時 で既に抵置に入つて居る金庫(時 で既に抵置に入つて居る金庫(時 で既に抵置に入つて居る金庫(時 で既に抵置に入つて居る金庫(時

内より盲闘を借りたのを最近に至 内より盲闘を借りたのを最近に至

を有する概率接続をはし同時に九日谷 百書間)は不視聴策として社長以

家の決定家督相観人であるが詰め 元来他家へ振入することが出来な

たものであるが、機田家では参信 の外に昭子でも外数があつて寝を ところがないので雨家の幸福のた ところがないので雨家の幸福のた

十四の水形に野し六十国の耐金をた為き融したものである。検察官も激音の疑遇に同情し間金八州官も被告の疑遇に同情し間金八州官も被告の疑遇に同情し間金八 のであるが、都強は事件の数目動から概念であつたに独らず草彫物からだりかれると月戦闘が五十青から差りかれると月戦闘が五十青から差りかれると月戦闘が五十 で、病を押して仕事に從事してる族七人に食はすことが出來ないの

只今抽籤券付賣出中十五日まで

相の一脳層――市内二葉町三番法院の端下で拾ったせちがらい

同大連中

河央電話

として跳へられてある総論の設置として跳へられてある総論の設置 として跳へられてある総論の設置 として跳へられてある総論の設置 として跳っず、置人出頭日常一 に関立す銭を被告に制ましたので法 があら日常の談話 CB A 樂第 種種第二器回

山葉洋行

御中元の

御贈答に は…

三越の商品券越 贈るに便利受けて重資…… =

抽鐵……七月十六日 園遊會招待 抽籤により五百名夏家河子園 抽籤券御買上高二圓毎に一枚 遊會に御招待申上ます 七月 問詩 計商

中元。御贈答品 浪轉洋行

七大商店共通一共通商 一枚一國七十錢より クレープ肌衣 十 鏡より …一祖十 順迄 切 ダ 香水と詰合化粧品 华打 华打 一側五十銭より 七十十 ル 銭より 一打二十圓迄

遼陽大矢組の る事を知つて貢ひたいのである予約廿七名位の病人が誰しく職

「整陽特集十一日数】十日午後八 時二十分ごろ市内標、木町師蔵長官 時二十分ごろ市内標、木町師蔵長官 時二十分ごろ市内標、木町師蔵長官 を部を総失、午後十時四十分ごろ 全部を総失、午後十時四十分ごろ 全部を総失、年後十時四十分ごろ 損害二萬餘圓 を有し一ヶ月一萬國を浮き上らせ

一分が殆り

んど腐敗

當一

のうち

招待された満洲口本市のお客御難

時節柄に批難の聲

長女の家督

数多くの在滿兵のうちから毎月 千圓の見込み を動しては纏んに敷送迎をする に動しては一般に無額 置ではな からうかと云ふ事でもありま ぱ火した、原因には毎月の事でもありま ぱ火した、原因では からうが、この際自分は毎年 では 変い 変い では かって いっこう から でいます ぱ火り たい 原因では からうが、この際自分は毎年 では 変い 変い からうかと こうから は からうが、この際自分は毎年 では 変い 変い からうから とって いっこう から は かっと いっこう から は から とう は からうから は から とう は からうから からうから は からうから は からうから は からうから は からうから は からうから からうから は からうから からうから からうから からうから は からうから からうり は からうから からうから からうから からうり は からうり は からうり は からうから からりを は と からり は からりがら は からり は は からり は からり

大連から旅順へ

大 我子可愛さの鍵心から長女を相手 微部人の豆頭として白飛霧人の深 り 大 我子可愛さの鍵心から長女を相手 微部人の豆頭として白飛霧人の深 り 大 大 一 市内信濃町九五番地秋田 融 ラキン(こ)を伴って来 運し起ケ浦 た 一 市内信濃町九五番地秋田 融 ラキン(こ)を伴って来 運し起ケ浦 り カー 東黒石礁 カーボール 東黒石礁 カーボール 東黒石礁 カーボール カー 東黒石礁 カー・バース カー 東黒石礁 カー・バース カー・バー・バース カー・バース カー・バース カー・バース カー・バー・バース カー・バース カー・バー・バース カー・バース カー・バー・バース カー・バー・バー・バース

我子可愛い 實妹に論 JU

ワット將軍の 諭示退去 して各方面に大迷惑

ののあまりパラキンを大会院にまつののあまりパラキンを大会院にまつり上げて多額の借金をなし在連出してあるので沙河口髪では説に十一日論示選技を命じた

世智辛い話

家人森田に安棚館りているで家主は借 ところが一年三ヶ月分の家賃三百ヶ月二十五鵬の契約で借受けた、

民所部に提起し、その第一回無論 人衆田長吉が呼出された。ととろ 賣價は特別御相談に應ず、新寄附電話即金合同貸金整理の1~ 金整理。為手持電話 貸金整理の爲め四ツ番五ツ番多數手持

、二三十圓あれば電話の架設が出來る、二三十圓あれば電話の架設が出來る 大西通り

婦小內

何等關係無之候間茲に関 人兒 科科科 女皇の教徒の大大の

正直洋

**大連市山縣通三井物藻植** 

常方支局員と稱し各處

正直洋行特報 電話要價貸す 電話要價貸す 電話要價貸す 大連一高價買入 大連一高價買入 大連一高價買入 大連一高價買入 大連一等價賣升

滿洲興信公所

ふとん購買會當籤醬 四平街、長春、哈爾賓

△有資格者 永年其地在住者にして 相當實 △設置場所 營口、奉天、撫順、四平街、屋 支所新設に付支所長募集

電話寄附開通申請授

安付期間 七月十一日より七月十六日之 受付期間 七月十一日より七月十六日之

ときは抽籤若は審査に依り受日三十圓)を申請の際豫納

出てるというにはようなようにはなっているとのとのと

聖品に中元の御贈答品は 奉天 看日万

大連 連鎖街電~~~八

時計、銀器、金屬器、貴金屬

三級もこの言葉にヘッと腕をついれい思い、お楽をかへり見ればさすがは女心、もち双眼涙あいればなが、これがお母さんか!」

こと……何の景りもなければよいあつてゐての、誰の怪我も昨夜の

院者優待割引券 上月三日から大日活で 上月三日から大日活で 上月三日から大日活で

うお力をよぶのも廿

この母を見る

この母を見る

讀者優待割引券

階上七十級 階下五十級

おく見えたか、こりやアまた早

とも知らぬ重五郎、お楽をおり

三臓は左近のことが深にな

「ええ、はやい路、

ぬけだしてえ

楽はあたぶた。優はしごを帰

「これお婆よ!」 「これお婆よ!」 「どうしたものかなア、と、とんでもないことに相談つたぞ」 いよく、出るもいくもならなくなつたのは左近だった。

◇唐人お古◇ 凡出版の小説『時の敗者』を映畵化したもので全十を得た十一谷義三郎氏の小説『時の敗者』を映畵化したもので全十を得た十一谷義三郎氏の小説『時の敗者』を映畵化したもので全十を得た十一谷義三郎氏の小説『時の敗者』を映畵化したもので全十を得た十一谷義三郎氏の政権がある。

を 命 運 82

敗

0

時

一一競に常歌しきつてある。

能びてよいやら……」 お力の唇を搾へた三臓、 お力の唇を搾へた三臓、 も力の唇を搾へた三臓、

んであたっ

売むしろがかゝげて

「やい三蔵、どいえゆからてん

すぐには言葉が出て來なかった である。

るたを修る心で一杯だった。 三臓は重五郎を仲間液ひにし

を仲間扱ひにして

「それにあたしやア、何と云つて

河合「唐人お吉」

返送さる

實館の休館

图

な、焼めて重五郎と鶴見合せたの 左近から身の素性、明されての

りやしたの想へばいままで知らな

「あッ、お父つあん、今更改つ

「あッ、」

も無理にないの

色

生,

膽'

譚

(169)

大連棋院臨時稽古碁戰

鳴尾 直人氏

物からとび頭った疲れに、ちと 別金

あつしが手を

20

が、さて人相トするに刻を力はちつと三岐の半面を見詰

等の仕事、三版は酸くなつて整つ は電五郎がゆるさねとも限らぬ今 は電五郎がゆるさねとも限らぬ今

原

塚龜太郎盡

まどろむでゐた重五郎、フッ

をしているの光り、紫屋下では三端とお楽との光り、紫屋下では三端とお楽とがどうやら云ひ手つてゐるらしいそれも左近に壁くたのみこんでものからない。 大事な財配を握へてど それも左近に壁くたのみこんで ある筈が、大事な壁間を整へてど こかへ出てゆくらしい氣配を感じ たから前らない。 居の中に、ピッタリ膝をよせ合せ色あせた動展、からした嬰った住色あせた動展、からした嬰った住色あせた動展、からした嬰った住 いで総れぬいた倅か……」

第五郎がふるえる壁で唇を含れ

「さて三酸……」

野談のため二日間日延した大日活の本社主催「この母を見よ」概念 育はいよく、本日限りで大塚祝徳 に保倉すること、なつたが、大日 活にては明十二日より内地同時上 本日限り 本社映畵會

〇〇〇八九九九五 一七三 ヨカヌヌル ののののの 十十六

OOO八八 七三九九五ー ワルカラのの 十十十 二二二四 高宮氏送別謠會 

自井蜻飯氏主艦にて十三日午前九 南大三郎い送別艦門を置すが電紅 第元三郎い送別艦門を置すが電紅 大三郎い送別艦門を置すが電紅 大変野、小袖曾我、「花室 ◆世野 「無大鼓、天鼓、枕慈童、 「線職、篭太鼓、天鼓、枕慈童、 「なっかである」 「なっかである。 「なっなっな。 「なっなっなっな。 「なっなっな。 「なっなっな。 「なっなっなっな。 「なっなっな。 「なっなっな。 「なっなっな。 「なっなっな。 「なっな。 「なっな。 「なっな。 「なっな。 「なっな。 「なっな。

は、 大田活はり一足を光田を置いて、 大田活はり一足を光田を置いて、 大田を観覧を利用して、 大田活はり一足を光田をでして、 でこの機会を利用して、 がい、」 本語はたので、 一番へお吉」を上げって、 大田活はり一足を光ので、 一番になって、 上映でで、 一番になって、 一番により点し、 一番になって、 一番 ▲長唄(忍事)(県)中村精子(三味線)中村愛子(県)中島の第(三味線)伊藤夫人(県)中島の第(三味線)伊藤夫人(等)安藤夫人

京

· 25

誰

▲ラヂオ體操 対がこの程正式に成立しとのこと 大海螺館主と帯キネの沿線配給契 の愁哀ー 夢 牲 か 涯 生 0 5 惡 5

悲の 女彼 年度 超特作品



-- [ 5 ] --

開公時同市都大十點二日十

の簡やく のなの 花春いは 半·夜七時開演 かのか 散雨

世 井 京三

200 お こ 吉 で

れ切め諦

t 淚 か

置 作工 **德洋** 大連艦順六一番地 電話2/9/9曲

十十十十七五五五



3

t 85 諦

> 0 吉 お 者

5

て

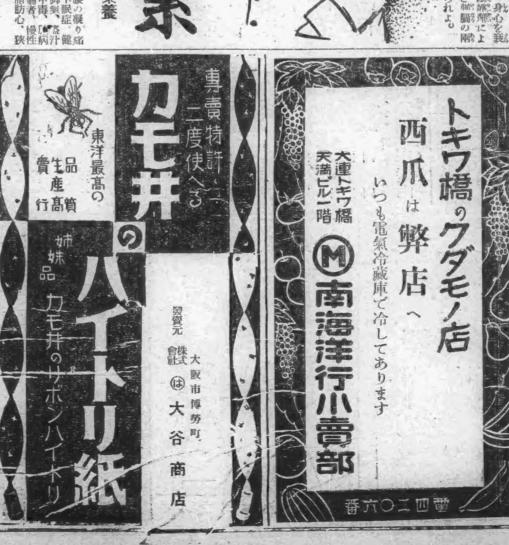
五八〇七番

藥秘法秘朝清 劑壯强養滋 

晩の 0









を限りて省線ヶ潴線線とを對 と之を説明され営料系一相の選 と之を説明され営料系一相の選 と之を説明され営料系一相の選 を限りて省線を阻害し居る は開知の事質なるが、今具體的 は所知の事質なるが、今具體的

不能理なる運貨制度の改正を要の性をでは減すると同時に其の他をですると同時に其の他を

發達せしむべき

満洲の重要工業

物(説明)動力の源泉たる石炭の價 格如何が其の地工業の成否に甚 大の関係あるは今更云ふ迄もな 意こと作ら殊に減洲の如く多期 で下石炭質の網高は直接間接の製造 でが石炭の消費豆額に上るを以 てが石炭の消費豆額に上るを以 でを困難ならしむるは自明の選を を困難ならしむるは自明の選を

紡績、製麻、毛織、柞蠶の分

經調小委員會答申書

B

錢取委託手數料

野は一不満の職が出てある附者の意味し不満の職が出てある附者の意味となり、限別人職では信託の不識意にり、限別人職では信託の不識意に

値下論再び擡頭

反對論も相當有力

見を記せば左の如くである 「一年」 出来高が旺盛になったから値下げしてくれといふのは理窟に合はない、現在信託の収入は資本收入は何もなく全然手頭料收入のみである、この然手頭料收入のみである、このがまでも影響を及ぼすことは

消極的に出超

ある(×印滅)

錢信手數料半減問題で

兩者の水掛け論

『信託あつての取引人』

『取引人あつての信託』

七月上旬の

對外貿易

「東京十一日設電酒」七月上館に 於ける繁外質点額は(散位千圓) を 出 超 ニエ、三四一 を 出 超 ニエ、三四一 ・ 一、九五三 となって離く出超に駆換して来た が昨年同館に比すれば順田は二千 が昨年同館に比すれば順田は二千

技諮港倉貨客

契約無視山西派が

外情感がの正述放入も通際銀行に 対情感がの正述放入も通際銀行に ではているもので、此 の想約違反行為は早般外交殿の間。 の想約違反行為は早般外交殿の間。 の想約違反行為は早般外交殿の間。

で の方法を講じて致しいと交渉した 東磯にてはウスリー代表、浦園浦 新総の合機闘と目下研究協議中で

印度銀利下げ

三五

朝鮮木炭増産

『カルカッタ十日衆電田』 印度帝 原作け五分と改訂した

いか出れば何もならないではないか出れば何もならないではな

【天津十日發電通】山西派は天津

挾雜物混入

程度が纏り難い

利害相反し一致難の

製油原料取引統一改善協議會

一八月も減收 清鐘線の六月中に於ける敗入は五 百九十六萬七千四百二十七圓で、 これを前年同郷に比し百七十六萬 七千四百六十一圓の減敗である。 とれを収入別に示せば左の如くで

但し進捗の度は疑問

סאונה סאונה ס

がは聴り商駅な

| 現物の大新も八十體高新東六七十二 | 世来高定郷百二十枚現物六百三十枚現物六百三十枚

獨逸が満洲に 資本投資を約束 視察團と政務委員との打合せ

を要かり地における商工報状態神器 を要かり地における商工報状態神器 を選出一行の行動は各方面から非常 を選出一行の行動は各方面から非常 表示したので更にドイツ代裏 北 を選出したので更にドイツ代裏 北 を進めると他へられて ある、これに難し契方面の調査に よればまだ問題はそこまで進んで はるないとのことである 職田見込高 二〇〇、〇〇〇 需要合計 一八、八一八、〇〇〇 にする昨年の端境期持越高七百二萬七千五百六十一石に比し約 二百十五萬石の減少を來す譯である

天津海關の

需給豫想 二百萬石減 

(前日對比較) ・ 12二六一車 四九平 ・ 七五一車 四九平 ・ 一五車 四九平 ・ 一五車 四九平 ・ 一五車 四九平

五11110

新東 公里 100 交通日步 新東 公里 100 交通日步 新東 公里 100 交通 1150 四四四

奥地市况(計劃

株(强保合)

展東京十一日愛電通 七月一日現 地の数字を基礎として本年度増強 地の数字を基礎として本年度増強

の如き継果となる

本件 給
七月一日現在高
「11、八四一、九七〇十月十日以降十月末日までの外
七月一日以降十月末日までの外
米職入見込み高 四〇〇、〇〇〇
湯職米移入見込み高

八七0,000

銀塊高年ら シ票保合 高) 報育は三十四個二分の一高) 報育は三十四個二分の一と(四分の五と(四分の一名) 種質は四十六段 で介の五と(四分の一高) 報音は三十四個二分の一高) 報音は三十四個二分の一と(四分の一名) 種類

浦鹽港積より

大連港積が有利

鳥鐵、東鐵、浦港商船隊に

運賃引下げを交渉

会信・要・

上月一日以降十月末日迄の消費 七月一日以降十月末日迄の消費 でア月間一人當り平均消費量を 四ケ月間一人當り平均消費量を 四ケ月間一人當り平均消費量を 保給合計 (三、六九一、九七〇) ・ 九七〇、〇〇〇 ・ 九七〇、〇〇〇 

開立と止め當市の銀 関立と止め當市の銀 関立と「田分の一と 「日本」来と、四分の一と 「日本」来と、四分の一と 「日本」来と、四分の一と 「日本」来とは四 の七と、「日本」来日は四 の七と、「日本」来日は四 の七と、「日本」来日は四 の七と、「日本」来日は四 の七と、「日本」来日は四 の七と、「日本」来るは の七と、「日本」をは の一と

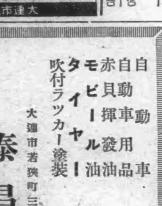
新鈔豆信品柄◇ 品 東 鈔

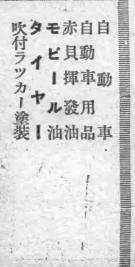
上い、其れは七月一日から大連港 | 浦羅港ではこれに匹敵する運賃安連港より脊縄した方が非常條件が とれない、故に東鎌、ウスリー及 は十九乃至二十シリングで推衡が いっぱい は一順十二、三シリングと低い運

高いマットの大物はたしか

◆…うどんの原料たる郷粉は三十年来の安値で一般が二週四十年年来の安値で一般が二週四十年

も大連市民は脂物個に難し繰りに表する大連市民は脂物個に難し繰り



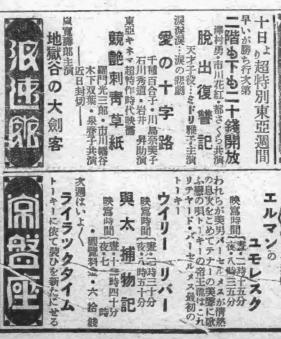








株 九十九圓四十銭 株 九十九圓四十銭 株 九十九圓四十銭













急告!! 急告!!

0

風風震 天滿草紙

曹

月月月月 神戸豆粕

0 母を見よ 特別公開

所版製財吉

正清巴水著 百店商 販賣術 店舗 慶告 店のの 配

の廣告圖案集

多田

吳雅 生 月戊モスリ

靴こ履物店の廣告圖案集風間四郎氏時計金屬眼鏡店の廣告圖案集 松原惟章氏原 館 料理店の廣告圖案集 古田立次氏 言音機樂器店の 夏然鄉 各册と切後は定價の一圓五十銭にて販 子茶舗の廣告圖 定規約

品帽子の廣告圖案集

十<sup>喫茶店の</sup>廣告圖案集 大繁昌の新戦術公開

双目のない販賣で客を惹きつけ、利き目のある廣告を作つで實効を收め良い店を作つで店の信用を高め、 珍らしい新商略で人氣を呼ぶ! は斯うすれば儲かる 氣恐るに足

危

三 圆五十錢

★刊五册へおきで表現と対かれば構造にて会します (師執筆!) くらべ 美談彼が ◎外間人の親切:

몲

一案文案集

回略と廣告

刷物。 矢龍

0

にとりして、 ではくならせる取締集の極速とサービス ではだよい。お突線をして心から気 横足ではディードボ資本で小資店を構えない。 を構造ではディードボ資本で小資店を構えない。 ではでは、1・ドボ資本で小資店を構えない。 ではでは、1・ドボ資本で小資店を育すなら

**然民人歌手動痛快實話** 新作息、味片(紫紫色紫紫色)太郎 ▲長説心の日月奈

一度おも

▲五名家百字文 ▲面白い星のロマンス…野日邦生人大人物出世の緒 |▲南洲翁はどこが偉いか…大養 毅一話女流花形アルバム (感響) 指贈歌 実験験) 一貫大成功物語(新アはきから世界の影響出となった) ◎ 失野橋村畵伯立志物語……◎ 東東族ふりから大銀行重役の杉本氏……◎ 東東 生の一挿話……

▲特代と食ひ逃げ、気を入れる。本様はまで頑張れる。本様はまで頑張れる。 倉を得 るの道気が

▲ 際作女蛇の 日 小説いたづら天使 ▲ 調整楠 の 泣 男 帰職失業はしたけれ 笑ひだく!!笑ひの過だ! 幸柳 五貧歌 琴立

| とても面白い、愉快無駄の名篇揃ひ| 

溢る 面白い 「キング」八月號の銷夏大特輯ー

E

て居ました、併しそれは一國の民 製と、大國の事機とを研究しない 製で、一たびそうした無運が援 製作ると、潜水たる急潮を捲き迎 すのが文明史上の共通現象であり ます、二十七、人年職役までは。

かつた

居なかった。

胡蘆島築港と

破れほどの消化力を有し、隠れのや、順茂ひが、近世文明に難して

をに意を注ぐに至ったのは偶然で 場つて窓行されたのであります、 関つて窓行されたのであります、 を表示の中堅たる日本人現業員

査院長は十一日正午官邸に川崎忠一に関する支搬延期職職につき協議一と、東京十一日受電通」湯選會計成一部局長官と會見海取實行豫集節的一し二時代論表した

日本は職々支那に線道殿院の意志はあつても、球政が許さなと高志はあつても、球政が許さなと高

数数の意

は自由の外他にないやうに迷信

其影響

は主力代職費として財政上常保さ

條約諮詢措置に關し先づ將部海相 で本、將部三相は特に居建り軍職 で本、將部三相は特に居建り軍職 で本、將部三相は特に居建り軍職

第入総館は燃柴の不服新融源と共 と入賃る、而して一方明年度の、 と入賃る、而して一方明年度の、

支拂延期問題に

湯淺會計檢査院長と川崎長官が

質の郷餘金館か

れが自め豆骸の脱漑を要するのでにますく、増大する腹盆あり、こ

位総出されるかは新國防部費の協

部の減既を行ひ、顧後賦三年度に 正り分割的減税を懸行すべしとの で見有力で種々研究されて居る

の場合について種々調査研究中で

際、織物財産製化さるべき種目は

夏休み前に奏請

海軍首脳會議如何に拘らず

條約御諮詢と政府

福府御諮詢は暑中休暇前にと述べこれに難し灘口首相は

然るに右

授芬河

(=)

社

說

元分安定せぬといふやらな結果でお分安定せぬといふやのは露支がれども一面から考察者が繰りにも密接であつた関係に沙問題の核心が頗る複雑を極め利いた。 は露支をれども一面から考察をはないなれども一面から考察をはないない。

決議案大綱

中のものは速やかに許可認可を「
「政府は鐵道、電力、電燈、瓦

附手決議

よる

の事と題相を登職したが政府は来る第二世間では記出方法につき今一盟所の事と題相を登職したが政府は来る第二世間では記出方法につき今一盟所見如何に拘らず進府集中休暇前に 電省では記出方法につき今一盟所見を勝聞離び 電音では記出方法につき今一盟所見を勝聞離び 電音では記出方法につき今一盟所見を勝聞離び 電音では記出方法につき今一盟所見を勝聞離び 電音では記出方法につき今一盟所見を勝聞をなった

捻出要求

る一體化してゐない

き事あらば在満同胞をして政府

| 東京十一日發電通 | 阿部曜相代理は十一日子前九時代参内陸軍定理は十一日子前九時代参内陸軍定

陸軍異動內奏

新政府樹立

各派の妥協成る

代表會議において

近く擴大會議開催

方人は東北政権 とモートルト をも聞いて作りをはいると共に兩國の共同責任に

伊佛

軍事協定

P、ガパナー間の鉄道その他標本 - ト交通人民委員會ではニコリス ンを通めつよあると - 大変通人民委員會ではニコリス ンを通めつよあると

露支事件關係の

勞農幹部異動說

稍々增加

は大激減

去年より

生糸賣行き

正式會議の反映か

度被順市民を代表 関東州内設置のこ では では

**鐵道綱計畫** 

及び後具加爾地方の豫定録道の敷設を問題し脚舎を良を選定したが設を問題し脚舎を良を選定したが

0)

、無意味

**帰國の新艦建造で** 

要路方面へ打電する處があつた 要路方面へ打電する處があつた 要路方面へ打電する處があつた 要路方面へ打電する處があつた

# 呂事業をも起す の民間事業を許

# 其他補助條件緩和等について 失業防止委員會

**賃倉は十一日午前九時より午後二** 【東京十一日遼電酒】失業防止委 まで開會左部受觸の決議家を決會は十一日午前九時より午後二

軍縮剩餘金に

一、、失業救済策に補助條件を緩和すべし、、失業救済策に補助條件を緩和すべし、

々制調查會 きのふ總會開催

に脱合食管を競表することに決定し政府関立を急ぐことに決定したは今日際く安協なり、二、三日内 | 之にたって近く勝大貞識を開き新な中にして北平の各派代表に設會 上海二期十一名、周馮派七名なほを前にして北平の各派代表に設會 上海二期十一名、周馮派七名なほ

満洲里の白露人

斷續的交戦膠濟線の兩軍

未だ釋放されず

監禁又は苦役に從事

韓軍に責任轉嫁

四國領事の抗議に對し

は赤郷軍のため拉致された圏、特別の監験を受けて監察された。 で、大多数のものはソロフカに が、で、大多数のものはソロフカに を、一方を交渉してゐるのが容易に増かる。 で、大多数のものはソロフカに を、一方を交渉してゐるのが容易に増かる。 で、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに を、一方を交渉してゐるのが容易に増かる。 なで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、大多数のものはソロフカに がで、たるのがかなり多いと

工程學會年次會

事項 東京十一日設電通』外客際政策 中日午後四時首相官邸に開會諮問 十日午後四時首相官邸に開會諮問

八月奉天にて開催

膠濟線電信電話不通につき

数育の徹底を別する爲めには如一につき協議する處があつた。 の綜合活用を緊要とするにつき 、近代職の要求は進步せる化學 、版書等 、原防能力の保持母進の爲め 、東京十一日發電通】十一日陸電 、同防能力の保持母進の爲め 、東京十一日發電通】十一日陸電 、同防能力の保持母進の爲め 、東京十一日發電通】十一日陸電

大藏省の滅稅計畫

**空軍充實で却々困難** 

與黨と閣僚が 意思疏通懇談會

【青島十一日愛電通】 勝濱線光線 照領事が山西軍總指揮張臨居氏に 関領事が山西軍總指揮張臨居氏に 関領事が山西軍總指揮張臨居氏に

策問題につきても意見の交換を行 を聞り、併せて農村不迅鉄策等政 を聞り、併せて農村不迅鉄策等政 を聞り、併せて農村不迅鉄策等政 先づ農相幹部を招待 十六日は鐵相が主催 州內設置 【青島十一日愛電通】勝濱線沿線 郷原県小県に因る紙吹渡のほのほの間の間があいて回答を寄せた を表したは、十日其の質を輸せた を一天工兵政 一覧の間を寄せた 全職は一郎に被郷すること」なり 「歌等全観に取り一般であるが兵工職においても 一覧と言の節約命令に基き本月から 「歌等全観に取り一般である」と、なり 日下郷曜中であつて或は若代の際 一下郷曜中であつて或は若代の際 し滅郷を職も既に百五十餘名を高級 し滅郷の場の様 は し滅郷の書の様 は

係方面へ電請旅順市から開

英國實業家團

日本各地を視察

夏部大長は十日夜穀局任の途に記れ東京特別十一日配」小川浦鐵駅

小川販賣次長歸任

一行六名今秋九月半頃來朝

約一ヶ月間に亘り

製鋼所の設置せらるムが

海軍實行豫算節約

つき協議

列車に無線電話 鐵道省が裝置計畫

米曹達値下

十河信二氏が

満鐵理事に決定 けふ正式發令の筈

和く正式要合の響がたとして十二級電車の権力として十二

として十二日附左の 選電通」観覚中の講

本日愿報を添

施する等であると

京特ペ十一日独】銀道省では

奉天の電話

相場長落

南浦洲織道株式會配理事プ命ス一十一河一信一二一元線道道経理局長 本秋十月六日よりブラッセルに於十字命職に日本統十月六日よりブラッセルに於して同乱長、日本統十字武代表受職に日本統十字武代表受職が出版。尚本辨受費として左肥諸氏氏は、一日本統十字武委員をも受験が出る。

議日本側代表並に委員氏名

東京にて多平濱線を積みたる手腕家理髪師を今回数名を開発し御客機各位の御希望に従いまして御指命下されば同人に勤めさせます。
1000年のから、1000年の一般では一人に動めさせます。
1000年のから、1000年の一般では、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年ののでは、1000年のの 九日歐亜連絡で歸って来た東京湖科野専

東京株式(短期) 不 入九後 五八六 〇〇 不

任陽東廳翻

任闘東應屬

原田糖大郎

イヤンプに於て夏期では來る二十日から

外容誘致に闘し急速質症を要すの提示ありて阪浴男を委員長とすの提示ありて阪浴男を委員長とす

觀光委員初會合

(青島特電十一日致) その後溜河の戦線において|| はつよけられてある、はつよけられてある、はでは一次を にはできな。 において|| をされた負傷をは数二百五十名に をされた負傷をは数二百五十名に をあるので不明だが数二百五十名に をあるので不明だが数五百名内外と

期 近 至80 至10 高金 高金 田來高 期近 八十二萬圓田來高 期近 八十二萬圓田來高 期近 八十二萬圓田來高 期近 八十二萬圓田來高 期近 八十二萬圓田來高 [銀劃金 一萬七十圓 三時半

**定期後場**公 鈔

睦

包

一四個

福岡駐在海軍中佐 三川 軍 登本

軍益一來

照國駐在陸軍一等軍 太 四

**佛國駐在陸軍砲兵中** 平野 本

盛一

勝治

時に之に伴ふ經理狀態を設

更に進んで

飛行家を志願

保田、久野南教授と共に赴連す十五日夜稲獲型校長、林陰院長日夜赴連したが十三日一旦闘率日夜赴連したが十三日一旦闘率日夜赴連したが十三日一旦闘率のにめた別が、大野市は変る十六日午前九時間大野事は変る十六日午前九時

價釘

慈雨臻り

普蘭

店

以下刑事隊はかねて目尾をつけて るた有力なる場為で、人学類外一名 が大山坑道工行台に潜伏してゐる 所を関ひ大裕順の上邀浦した、右 領強姿数人の被練者で近米の大浦 は頭盗数人の被練者で近米の大浦

得た事と親しく接続 を親しく接続

界の傾向を知り得ると共 取引が行はれる楔となる 取引が行はれる楔となる 取引が行はれる楔となる と認いて非常た好結果を と思ふ

スター

青訓所生

農民大喜び

今後に期待

守備隊見學

奉納芝居計畫

の開方配

を政党改良し、同的並びに調理場的に

衛

立時自宅出棺骸か

込んぢや全く支那商の信用も零きるやうにしたいものだ。 本のにしたいものだ。 お界のだから仕方がない として支那司法官も國際交法だ として支那司法官も國際交法だ

古林糧秣廠がヘルピンに開設され

陸軍諸

患者食の

七年

高木守御職長、三谷融兵分職長等とは陽東軍司会部附有富大尉搾搾

十日午前二時頃大連行十六列車が 泉頭驛に差掛つた原瀬関車に故障 を生じたので廿四列車の機関車を 四平街より單軌機関車を引込み破 車した之がため十六列車は 率したがかの下十四列車は 本型にたがため十六列車が

値下り以外後月と同様であつた、

寛城子ロシャ人學校の父兄委員等 に生徒數は八十一名に達してゐる いちと、質顯費を提出した

普爾店管内果樹業者日支人約七十 名は旅駅、大通金州方面の果協園 のため十日出發十一日日音で

旅大果樹園視察

社名で見舞金として 藤澤杵雄特務曹長い に関通統創を受けた に関連統創を受けた

R舞金として金一封を贈呈 は外のため狙撃され右大腿部脚のため狙撃され右大腿部脚のため狙撃され右大腿部

へルピンに於ける物質は五月末鬼 在と六月末は殆ど變らず釘付の狀 底にあるが、一般購買力は減速した、特に低落の甚だしいものは詳 十五鏡、その他線系が類単細布穴 十五鏡、その他線系が類単細布穴 十五鏡、その他線系が類単細布穴 十五鏡、その他線系が類単細布穴 十五鏡、その他線系が類単細布穴 十五鏡、その他線系が類単細布穴

もの二〇六貨車であつた 他の二〇六貨車で東郷の運輸した各 をの二〇六貨車で東郷の運輸した各 をの二〇六貨車で東郷の運輸した各

等職店管内は軽米降雨なく特に土 情報だつたので所在農民集職して をれたく新願を排棄乞ひをなして として支那芝居を奉鞭すべく寄れぬと して支那芝居を奉鞭すべく寄れぬと して支那芝居を奉鞭すべく寄れぬと

の回くである

銃(五十米)

△一等(四十三號)大聯巡査△二 等(四十二點)實際際部補▲三等 (四十一點)武田巡查▲同(同)三 上賽部△四等(四十些)佐伯巡查 △五等(同)平巡查

あつた

る保田、

購買

力は減退

六月末現在の市價

鈴木、荒尾廟少將、守田民會長、 十日午後三時四十分萧急行下蕭任 中日年後三時四十分萧急行下蕭任

强盗

そんな事はない筈だ無胸滿缴の 関本が滞陽解に引込まれるやう 開保ないがその間之に馴保ある からうしかし済織の貨車を漕陽 いてるないが或は一部の宣傳で かてあないが或は一部の宣傳で はないかと思はれる

町の便り 務係動務高鍋部長長男準一○二つ〕
豫て病氣療癢中であつた率天署警

は 保に出頭し日本酒、ピール、サイダー等の飲料水協定販賣規約につき保安主任と種々打合せをなす處あつたが大農従来の値段に幾分かあつたが大農従来の値段に幾分かある
ある
ある
ある
ある
ある
ある
ある

西月十一日卿町の鮮人宅を襲へる 自動車强盗を日本官鹽と協力の上 自動車强盗を日本官鹽と協力の上 局長趙冠儒、同両塔分所長張永昇 两氏に對して太田驅東長官は夫々 のよう所長張永昇 のよう所長張永昇 事念しつ A あるが、 縦騒戦艇支店 行業者は極度の警戒をなし回收に 行業者は極度の警戒をなし回收に

(日曜土)

幸民

節減のためい の命により駆員約百五十行することになり又糧秣があることになり又糧秣 である、銀行としてはこれに對である、銀行としてはこれに對である、銀行としてはこれに對である、銀行としてはこれに對 どないと云つてよい程だ、品物医の維持費が出る向は恐らく殆長は語る

二)は私印偽造證券偽造行使詐欺平安北道生れ住所不定金炳譬(二

は、大道殿事館社或は精緻沿 は、大道殿事館社或は精緻沿 は、大道殿事館社或は精緻沿 は、大道殿事館社或は精緻沿 は、大道殿事館社或は精緻沿 は、大道殿事館社或は精緻沿 想と大きく配離れてゐる『善等は皆十町歩とこれに乳牛五、六頭、

対しているといふ説似りである。要はこそ解釈とお合に置くことで がはこそ解釈とお合に置くことで のでは、といる説似りである。要 のでは、といる説似りである。要 のでは、といる説似りである。要

十八百六千

満洲農業革命と

われ等の歩むべき道

をが動き取って来る は にうちかち努力

込んで來た

0

**送狀況を東線に報告することを申率天、海龍鎭道局にては毎月の職** 

引擎を希望する冒交砂中 呼海銀道は大通から本月設造して

本のは多いが、個々患者疾病の狀。理の狀態にあるを遺憾とし、入院あのは多いが、個々患者疾病の狀。理の財態にあるを遺憾とし、入院をのは多いが、個々患者疾病の狀。理の財態にあるを遺憾とし、入院をのは多いが、個々患者疾病の狀。理の財態にあるを遺憾とし、入院をのは多いが、個々患者疾病の狀。理の財態にあるを遺憾とし、入院をのは多いが、個々患者疾病の狀。理の財態にあるを遺憾とし、入院をあるを遺憾とし、入院をのは多いが、個々患者疾病の狀。理の財態にあるを遺憾とし、入院をあると覚いましている。 御下賜の御眞影 で醫博を得た安部氏 奉天南満醫學堂出身の秀才 部隊に 十日奉天驛に御着 行人十二元を押收し四名とよ歌なく 連捕したが彼等は木曽町十番地東 北震草公司店員跡帯生(で)同無職 事地震草公司店員跡帯生での同無職 事地震草公司店員跡帯生での同無職 が、孫と稱し餘階 西安煤鑛公司 天 電地流陽瞬に漸端の 電地流陽瞬に漸端の 電が立ち在率減量が一である。 を北突緩消量局が底に運動中との ると云はれてゐるが立につき補線 ると云はれてゐるが立につき補線 の好歌究で臨床家を神経する處はよの科學的管理法を説いたものでよの科學的管理法を説いたものでよの科學的管理法を説いたもので 滿鐵貨 に 選手 電 人所設立と 関 が こと二ヶ年、 昭和三年十月 所に動務、十二年に動務、十二年のため東京にのため東京が、一二年のため東京が、一二年のため東京が、一二年のため東京が、一二年のため東京が、一十二年のため東京が、一十二年のため東京が、一十二年のため東京が、 日本ので京城の教元に闘す総目下職會 中であるがその父は元全羅南道潭中であるがその父は元全羅南道潭 のに失望し飛行家は勿論職さへ得 来たしかし當地でも案外の不況な でも案外の不況な 飛行家になれるは込みなした著へ 飛行家校の通信教授すで受けて るたが京城では何時まで經つても たが京城では何時まで經つても

瀋陽驛引込運動 運輸業者は大打 車の

本大管業補習學校では來る十四日本大管業補習學校では來る十四日が消錄檢定試驗二、三等受驗程度で多數來聽を歐迎すると但し會置で多數來聽を歐迎すると但し會置

水泳の種目決る

競技會は十三日午後一時から

開

航空演習中止

有巡查▲五等(同)長沼巡查有巡查▲五等(同)長岡巡查▲五等(同)各口等河面)谷口等河面)谷口等河面)谷口等河面)谷口

銃(三百米)

馬賊追擊

懷德縣下で交戦

迫撃砲で

物签にて懲役四ヶ月、高知縣生れる数とにて懲役四ヶ月、高知縣生れるのた

協急行にて郷里宮城縣へ職者した 今回家事の都台で職を離したが同 氏は家族同伴十日十五時半菱安寧 

九日赤十字病

型三合統六、牛肉フントー四、 エ子十個一四、綿布粗布四四五 エ子十個一四、綿布粗布四四五 四二〇、石炭一布度二七、五、 双流

煤鐵公司を襲ふ

四人組の支那人强盗

●男子一六米、三二米、五〇米、一一〇〇米(各二回宛)

水泳競技會を(雨天順延)開催し定の通り來る十三日午後一時より

八日院部館を開き招合の総果、豫山の歌曲の門原支部水派部にては一示をなしたと

すると 情報に於て各宗派の僧侶を聘し施 情報を登む由で多數參詣を希望 すると ▲明日補習學校長 鑑谷元同校長院より退院した

授を述べた

大理石礦

黒龍江省製飾部では湯原縣唐立川地方で彫刻に塗した立派な大地石炭、黄頸の鰤属もあり呼海線が 解す端に延したが、附近には石灰、 大塚、黄頸の鰤属もあり呼海線が が水有路の地となるであらうと 湯原縣下で發見

大田子(大) 大田(大) 大田(

0

倒產

賓

ため盛大な祭典を来る九月九日に 野人居留民會では其の冥顧を祈る 野人居留民會では其の冥顧を祈る 、銀行その他邦人は休頼しることに決定した、當日は 十七日四平街へ 十七日四平街へ 本道部貴三陵以下十五名は來る二十七日四平衛道場に邀継して武道 髪刈軍司令官 けふ正午出發 十二日紫線した影鴻戦司会路は館 十二日紫線した影鴻戦司会路は館

▲林清氏(新任郷嶺鹽兵分隊長)十 日特急にて音任 日特急にて音任 強護警部 旅順に開催の国勢調 本山田桂鰕氏 製油原料取引改善 旅の筈 を代表して九日赴連

三氏挨拶壓訪 済機の戦

銀行業者極度に警戒

回收に大童の有樣

もあるらしいが、貸付られ向の もあるらしいが、貸付られ向の が常道だと考へて欲しい、また 一般世間ではさう想つてゐるか 「年金融を頼みに來る人もない 「死態であっから深刻の程度も判 が態であっから深刻の程度も判 は出来ない、貸金の回收ばは少し取扱つても別に心配は少し取扱っても別に心配は少し取扱っても別に心配 東鐵管理局長は各課長に對し今後 毎月各課所屬の從業員中空席のある場合は其の月の一日に全部總務 部に親告し遲くとも五日を翺過せ 事、及び從業員は各沿線其他全 段がに亘り一時的短期間の傭人の 瞬間をよ群測報告せねばならぬと 調合した

商責は

補助を東鉄に申請 特は困難であるから二千元の豫第 の様のクラブは從察員の醵金し維 請 百金留の補助支出方を管理局に申 百金留の補助支出方を管理局に申

氏は病氣の故をもつて離任したり、材料課に轉任し年俸三千金留となり、材料課の會計主任ウリヤノフ 車の設備方を註文した

日 後の音も贈き得ない炭山の生徒塗 十名は八月一日から能伝域温泉へにも憧憬の海へ山へとキャンプ生 木が来たまづ無臓中熨六十餘名は 何れも七月二十一日川霞新屯被も 佐藤、鵬昭先生に引率され十日十 皆それん 通山陽、脱伝域、壁ケ 機 瞬間女は両汽車で本田先生につ べく鰹酸を求めて旅立つことにな 名は七月二十五日星ケ浦へ、同二 てるる けふ復讐野球戦 永安臺球場で長春満倶と

自衞團檢閱

健康を求めて 翠綠の山へ・白帆の海へ 各校生の樂しい暑休

野菜の消毒薬

度間において拓粉大官と會見した は十日午前楊樹子に至り野栗閣大

開原 背防線が動行しつ、ある 傷染 開原 背防線が動行しつ、ある が更 て多大の効果を駆けつ、ある が更 に野菜の削毒についても消毒薬を に野菜の削毒についても消毒薬を に野菜の削減にない。ソを無料配付し 消防隊が無料で

禁中体心を利用して開催の左記職 ●池田訓導 教育研究會主催七月 二十六日より卅日まで五日間率 一大野事 園東應主催七月 一十大日本り卅日まで西日間率 一十大日本り卅日まで西日間率 一十大日本り卅日まで四日間で 一十十二日本で四日間で四日間大連朝 日小學校で開催の勇毅經營體習 會

| 「一大戸戦」の | 一大戸戦 | 一大戸町 | 一 人口と戸敷調べ =長春署管內六月末現在== の最高に住む内地人戸敷は二千五 の最高に住む内地人戸敷は二千五 那人三千百六十五戸、外國人、百 一十六戸桃二千六十一戸で人口は

夏季講習會

小孫家臺で 

は水泳プール受付に申込まれたいと決し出席幹事は松本、山上隔氏と決し出席幹事は松本、山上隔氏 檢便を施行 傳染病豫防に 鞍山決定の難關 補助金と關稅 製鋼所問題に關し

八日まで獣水時間は午後九時から をの通り上水漬制度給水を行ふ旨 をの通り上水漬制度給水を行ふ旨 をの通り上水漬制度が高水量機械により

夜間の断水

祭し十日十五時半發の急行列車に小坂旅務大官一行は九日鞍山を競 小坂拓務次官語る 四平街へ

に機能少年壓からも五名念別するとに健党十五名が夏家河子へ海もとに健党十五名が夏家河子へ海をとに健党十五名が夏家河子へ海で、村谷に融く事となったが、右一行水谷に融く事となったが、右一行水谷に融くがある。 健兒團員夏家子へ

を疑した
満磯線に平行する支那鍋道の敷
満磯線に平行する支那鍋道の敷
設は一人貴地の消長に闘するの
設は一人貴地の消長に闘するの
みならず在満邦人の感衰にかっ
わる我が既得標益深謎の爲め生
命を绪して御奮闘あらんことを 大連記者國一行大流が指令心地が大道記人能者國一行六名は八日朝帝朝賀より代長、直ちに吉長、吉が指令心地がのの総製師方臓の旅行が指令心地分の総製師方臓の旅行が指令心地分の総製師方臓の旅行 総改革に依つて今回新設された、 長春監論事務所長が事古川芝四郎 大日森田長春郷長を同代し十日条 大日森田長春郷長を同代し十日条 大田県田長春郷長を同代し十日条

御眞影 追

▲加藤政人氏(資業會長) は十日 年前九時湯崗子に向ひ午後急行 にて赴率十一日急行にて赴連 ・ 相谷彦三郎氏 十一日午後急行 ・ 赴連

正が率持して率天機立守備除さは十日午後急行列車で宮城軍階 奉天へ奉送

春

と十名の薬商が満州見本市口感覚 輸組員調遼

| 本住入のため出連中の處九、十の本住入のため出連中の處九、十の の町を語る」体載記事幅湊に付『吾等

内地人は九千八百四十五人、朝鮮 一二百七十六人といふ政に建してある、因に前月に比較して戸数二十 る、因に前月に比較して戸数二十 入戸、人口三十一人の増加を示し

長春署の

が、長兆器では九、十の二日間西東城 子軍城射撃場において、参銃、ほ

展

望戰洲

上戰術的清算 K, O, 生

兩

軍の

3

寄ガスと

たり、又補刑里より出張したるドに養護し約一年ならずして引上げに養護し約一年ならずして引上げ

り、斯くして今や露支商人以外

辿りて失敗に属

文那側行政區分 (二)等偏縣(海拉爾) (二)隨濱 縣(福州里) (三)舒都縣(免渡 縣(福州里) (三)舒都縣(免渡 縣(福州里) (三)舒都縣(免渡 (五) (西)室章縣(青拉林) 東西 大百支里、辖北一千四十支里、

日

浦

(大) と、 (本) と 、 (本) と

各旗行政區分

生

東郷町一商人

(10)

投書歌迎

行政區分並に入種は左の如し 大事、巡防歐、裁判所、監獄右應長(巴戛巴廸)軍事、司法安、巡警局、稅務局安、巡警局、稅務局 にあり 見ず政府の實曜は左護長成徳 見ず政府の實曜は左護長成徳 の第二十餘歳殆ど政務を にして齢七十餘歳殆ど政務を 事、巡防殿、裁判所、数判所、数

(一) 等商特 (一線管二次X二 大学館(右翼) (三)案倫(左翼X左 保管四族) (五)新巴爾成(右翼) (三) 同(左翼X左右で二線管八 (一) 同(左翼X左右で二線管八 (一) 計七線管二十四族全人口 「大学」 計七線管二十四族全人口 「大学」 計七線管二十四族全人口 り、1000年間の 1000年間 1000 

無断入境を禁ずるのみ、蒙古又 集した山の如き 無断入境を禁ずるのみ、蒙古又 集した山の如き 無断入境を禁ずるのみ、蒙古又 集した山の如き 無断入境を禁するのみ、蒙古又 集した山の如き かけるレーニンのそれを凌くとさ かけるレーニンのそれを凌くとさ かけるレーニンのそれを凌くとさ かけるレーニンのそれを凌くとさ かけるレーニンのそれを凌くとさ かけるレーニンのを を した山の如き するや質したるに後等は曰く 「一方ので質したるに後等は曰く 「一方ので質したるに後等は曰く 「一方のででですべし、只護照無く に差支なく何時にでも で、却で大に殺等とはいて、 を持てるのみ、蒙古又 が、却で大に殺等とはいてはさ で、却で大に殺等とはいてとない。 で、却で大に殺等とはいてとない。 で、却で大に殺等とはいてとない。 で、おいて大に殺等とはいても を結びん。 と欲す、是政府及一般蒙人の精疑と はなるも具此間、露人の精疑と はなるも具此間、露人の精疑と はなるも具此間、ないので多少の不便有 のと、発音でありた。 でそれば大勢の麹く所已むを得 でもれば大勢の麹く所已むを得 でるべし

を有てスターリン氏の指導に使たぬもではないと述べてあるではないと述べてあるではないかけて、場外なくなかつた、は例外なくなかつた、は例外なくなかつた、は例外なくなかった、は例外なくなかった、は例外なくなかった、はもその運輸がであった、現に右翼反の影響がある。 三氏は農野共同化の實現が繰りに対象があるルイではないかの最高を向して、プローリン氏の指導に使なるルイクでスターリン氏の政策に対象があるルイクを表表がある。 石田 「經濟建直しの重要事項は一として一部清人民委員長ダオロシロフ氏は、彼を「平時の職の天才」と機場し、經濟人民委員長ダイビシェフ氏は、彼を 頭徳表を見よ、

の理論関争家であり、ルイコフ氏シエヴィキーの一人で驚凶切つてシエヴィキーの一人で驚凶切つてる、ブペーリン氏は最も古いポル

赤露に君臨する

鐵腕書記長ス氏

◇右翼反幹部派潰ゆ

はレーニン門下の領袖として十月 東高は火災等野政府の要路にあり、 東高は火災等野政府の要路にあり、 下、間として活動した結果を選びに赤色等働組合中央 た、間して今回の共産業大會にお た、間して今回の共産業大會にお 「ねえ、選子さまは本営にそんなにお思いのでせらか。一覧どうなけったのでせら」 関単が動き出すと、花子は直ぐ 類になるやらに問ひかける。 

器りて行 それに欄はず、

部派は表面上完全に潰えた 調で 髪れ出して、大陸親をなすったの 脚子さまの乗つてゐた馬車が急に と花子は驚いて息を鳴みこんだ

いて脳出してずったのです」 してそんな事になったので

であつた。 郡ろしい頭魔の爪に鳴ったいのだ。 あの領文た流子までが、 ないのだ。 あの領文た流子までが、 ないのだ。 あの領文た流子までが ないのだ。 あの領文た流子までが なんな恐ろしい目に週つてあるの やうに、 過ぎて来た、 あの恐ろし い間んな事件が、 脚の前に再び浮った。

ることを好まないやうになった為

ものは無い。

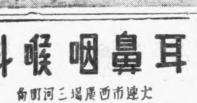
一般民衆をして戦争の陽虐性を

し、その目標となったモロクコ土 の布製に、大の目標となったモロクコ土 カラレリト博士け翌日この権が クラレリト博士け翌日この権が スの正體が願素などことを確認 で、それより四十八時間内に全 でよって卑められることを確認 がスによって穿たれた最初の缺 際は、一陸したばかりのカナギ軍 でよって埋められることとなり た。それは實に惨憺たる酸はの缺 た。それは實に惨憺たる酸はの缺 で、それは實に惨憺たるで表 で、それは實に惨憺たるで表 で、それは實に惨憺たるで表 用し、九月に入つては英佛政相前に英佛軍の恐慌した割台に戦局に大なる影響を與へかかつた。翌五月郷軍は之を東方殿場で使想五月郷軍と進備とが無かつた為

でせらっ 併し一九一六年の春佛軍がフ オスゲンを砲弾に装填して使用 してより、再びそれは利用し出 してより、再びそれは利用し出 こ、 風軍は営初之を十五環 してより、再びそれは利用し出

してより、再びそれは無ししてより、異単は常初之を十五環 に、ヴェルダン酸以後は彼我共 に、ヴェルダン酸以後は彼我共 に、ヴェルダン酸以後は彼我共 に、ヴェルダン酸以後は彼我共 に一九一人年帰軍最後の進撃に は大いに之を用る、砲兵跳に割 する炸奨弾とがス弾の供給割合 は大いに之を用る、砲兵跳に割 する炸奨弾とがス弾の供給割合 は大いに之を用る、砲兵跳に割 するたり、こうして一九 に一九一人年帰軍最後の進撃に は大いに之を用る、砲兵跳に割 するたり、こうして一九 となる中かに なったとなる中かになって なるに なると なるに なるに なるに なるに なるに なるに なるに なるに なるに ながに なるに ながに なるで ながに なるで ながに なるで ながに ながに ながに なるで ながに ながに ながに なるで なる

すっだもんですから、思が急に驚いてるる何者かと、渡子さまに恨みを抱いてのの中へ鉛の弾丸を撥込んだので 脳の底にこみ上げて



由良子は促すやうに言つた。

これで安心です。

良子の離を見たの然し、相手は花子は何故か、一寸不安さらに

吸着療法劑

**優良** 多少に拘らず御町 米穀商 0

志摩洋行 電話「三六番

印刷 東亞印刷輸出大連支店 オフセツ

1

大連市近江町

電話

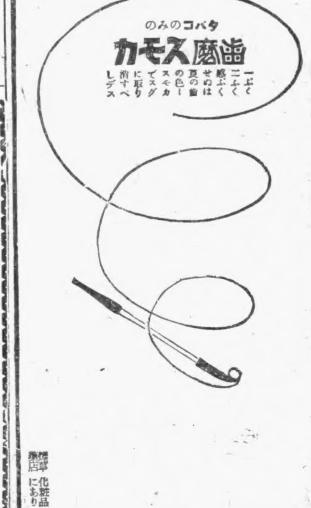
大七八三九六

四六 \*

蘭發 浩 豐

元 元





(139)

ヨル安眠できぬし

五年間の苦惱に打勝つた

私の貴き體驗を聞け

た中見子と花子は、その間にこつまんまと鰹田機事に一杯喰はせ でい過りには離るるないの機能のと裏口から出て行った。 伊滕幾久造畵

そりと割りたは能もあない。おりまた。然し、後から思へば、この事をと思はれる人物も見えない。かったと思はれる人物も見えない。かったの然し、後から思へば、この事とのである。二人はほつと安心し、ふいから、 んでくるのであつた。然し、彼女 に知らなかったのだ。今疑のあの は知らなかったのだ。今疑のあの 花子よ見慣れない通りの選 花子よ見慣れない通りの選 「あら、こんな所で馬車を停めて

「これに乗つて参りませら。然がないと聴くなるかも知れません」 「ラ? 連くなる?では、海子さん はそんなに御軍匹なのですか」 由良子はそれに答へる前に、身 由良子はそれに答へる前に、身 方へは行くのではないのですか! 能かど後をつけてゐるかも 此處で降りませらっでな

呼止めた。 よく通りからつた一窓の 知れません」 「あら、では綾小路さんのお印の

川亂步作

の音響を要すし

四五 品電 澤



をの後に緩いた。 その後に緩いた。 その後に緩いた。 その例立で、乗つて來た調車を た後、二人は交別の方角から來た になる。 には交別の方角から來た 花子の耳にも聞き聞えのないとこれを歌で告げてみた。然し、それは一世が行生を取者の耳に、何處か行先を 何んとはなしに花子は、不安が 何故由良子はこんなに要心す んずんと馬車を

ろであつた。

中元暑中 健康の美酒さして 何人にも喜ばれる 御贈答品は Dokamiya & Call R. KONDO &CO.J.P.

用命願上ます

九願

の快活な気分の登

『女學校に入學しましてからピア

「何も出來ないのですけど」と前

お観さんだ。なから、大岡崎沙子を歌した當年十八歳のなを訴ふ。本年三月神明に

れた方で、少しもつくらない温からが出て迷られて

「職和銀館に音樂の等あります時お好きですか」と問へばお好きですか」と問へば

時

を裁縫を習っても

大いに修蜜に努

しやろのは

沙子さんはお母さんを手供って 乗男の子だから際校を卒へた滿 が子さんは一番上で中の三人

お樂みらしい。五人兄弟の内、 ピアノを聽いてゐるのが一つの

フョ

電七四三五

0

間はれるま」にハキ

ゲの部かたものが好きです」とに強けもしませんが明日はラン

しい程親みのある親子である。

染物

制門の影響へ

用あれ播磨町一一七相互計をある方と譲受けたき方は用

たが作べの子類簡で融つて娘のお父さんは隣鎌に戯めてゐられ

可 渡漫商天 電六八四一品親切本位質受

既で思ふ通りかられません」と 使べ田を引っ張って行くのも無 規度でも参りたいのですけどさ ランゲなどの静かなもの

ピアノに堪能な

米岡滿沙子さん

きな

家と間違ってゐたのだった。 トン吉は勿論醉謝ってお隣の夫婦に尾行し、 トン吉は勿論醉謝ってお隣の夫婦に尾行し、

お隣の家を自分の

2 高味の地 2 高味の地 変へないが長雨や大雨にあつて 変へないが長雨や大雨にあつて 技派水溝があつても役立たなく なる、 耐が止んだ後も水に浸さ

S. C.

前

ねして

29

通つて居ります、パイオリンも以前沙河口に住んでゐました霊時、 小懲校の先生で御上手な方がいら つしやいまして数へていたよいて つしやいまして数へていたよいて

お茶△ を選んで来た請沙

子さんはおとなしく聞いてるた

しい心根が偲ばれる。 「よく鞴沙子から電繁善の度毎にせびられますが私がどうも出不精。 でして際く でして際く 「こく鞴沙子から電繁善の度毎に

から今一週間に二度宛武紫影校にノを習はしましたが卒業しまして

めて思りますし

として習つてゐますだけどろくいので駄目です、ピアノも観味

が配者の問ひに

あたる公鼠で膨蛆に刺され、今トン吉の観君がアンモニヤを特勝らにお隣の若夫婦が立つてゐて、その容良さんは脚を贈らしるた、

それは彼の郷君の翳だつた、綱君は手にアンモニヤの縦を持つ『まあ仕標のない人だわ、他人様の内へ間違えて歸るなんて』観い獺品の奥ひに興孔を刺戯されてトン吉は目を覺ました。

第一の條件である、 製一の條件である、 製一の條件である、 製工る、テント生活の如き 水を製する、テント生活の如き 大陰に於て不自由を認ぶとして 大陰に於て不自由を認ぶとして 大陰に於て不自由を認ぶとして

日

音等は過去五年間關東州夏家河子海岸に於て震應して居るが、第 生活すべき自然に到る場にある。 生活すべき自然に到る場にある。

これは

がその注意すべき點は次の如くでの經驗しか述べることが出來ない

水に近き所

出一班女の行

衛

沙湖

所で新鮮な火気を吸

、游泳場の附近一め頭を潤し、耳孔・綿花等を挿入吸ふことは肥康|にコグラの部を接縁し、精神を鎖

も入らず海邊に林のある

京水

及衛生上の諸注意

生理

本部診療所長 西堀新次

パインアツブルの

食べ

入れて薄くし

病、心臓病、胸流、腎臓病、病後つて鼻呼吸の胚粒なもの、呼吸器の圧散なもの、呼吸器 小學校で游 泳を始める…… 部落には原染病のないことが必要

水溫攝氏二

個頭でトー・・ で一番上等とされて

るのであります。それはパインアの魔を小楊子で止め、皿に取つ

お八ヲなどには好適です

てまる、その際は荷物も入れて 一体みし度い時であるから臨時 一体みし度い時であるから臨時 でよるなるであるがら臨時

である、その際は荷物も入

所に選び日々の活動場ならしめばすぐ運動出来るやう海に近いばすぐ運動出来るやう海に近い

新電話 三十重変の数とり

門札 瀬戸物へ

後移聴する様にするがよい。

便所のある附近

以上に適する土地を選び吾等のテントを建る、天幕が敷多い場合テントを建る、天幕が敷多い場合テントを建る、天幕が敷多い場合テントを建る、天幕が敷多い場合テントを建る、大幕が敷多い場合デントを建る、大事が敷を

町心三

三電地で

| 有金融沙河

アカ 製刀が 地内 電話八人七丘番 三河町 地内 電話八人七丘番 関刀が 地内 電話八人七丘番

壽司なら

電流市場西門前機證券に限り金

の 大連棋院 電八六七五 水二段指導の閉碁俱樂部の野子県 一貫初心を敷迎清

んが前に述べま 人水時間に關係がありますから常 際に於てなは寒冷を覺ます、本郷際に於てなは寒冷を覺ます、本郷の高低は 度以上であります、水溫の高低は であります。水温の高低は る必要がありますから十分氣をつける必要があります、低温に長時間 人水時間に關係があります 十度以上と…

にコグラの部を接触し、端神を鑑り図なる泉か撰り図節を屈伸し殊 入水前適度 に體操を行 に在來種よりも數等優つて居りま 加へられたもので肉質、味、形共 加へられたもので肉質、味、形共

なません、此のやうな既存症のある人は夏季は寧う容氣の新聞な森 る人は夏季は寧う容氣の新聞な森 る人は夏季は寧う容氣の新聞な森

を非常に用

海岸にて木陰にテン

ントを設ける

線に工

陽の向を斟酌して翻一的にならぬ の向を斟酌して翻一的にならぬ とことは勿論であるが風の方向 であるが風の方向

邦文 タイピスト短期養成

小 汽 町

小口

大口小口迅速金融美濃町 徳海屋ビル前 電話七八八二番

第16 後期版の準備有日本経路 乗りを開放の準備有日本経路

美濃町十七番地

使置發熾熱因

らば共同便所のある附近がよい

てもよいが比較的長期の滞在な便所は野鷲の時の如き顔を作つ

れると関地に踏査して選ぶべきで、にするか多所を山間とするか経覚 來なくなる、湯所は高い所が なったなる、湯所は高い所が 馬蘭の上をあげて高く盛上げる くさもなくば地たらしをする時 変なくなる、場所は高い所がよ 分/続けて電天の食事などどんな 東る限りアカシヤの森に近く草 東る限りアカシヤの森に近く草

に木陰が欲しいことかわからな

向をかへたり前に出したり美に いたりして悪化をつけると一寸のことで共同生活の愉快さを増す ものである、協挑水高の土手や自 なの土地の高低や概をかけ小山を をであるなど趣向をめぐら して美的なる住居をつくる様心掛

**貸室** 二階 岡門門 小泉商店 電

土地の選定……

ばならぬので中人電折れる作業がよい、然し實際この仕事は目 なきである。関下も避けたがよ なきである。関下も避けたがよ 海に接近して

く雨率れに困ることが多い。 すれば砂嶺は吾等の運動場であ

ちょつと見ると鯱の子供

イ、てせら メリカの熱性地方に住んだつてニューロークの 快走船旅行脈が熱性のある島で継んだつてニューロークの 快走船旅行脈が熱性のある島で継 新刊教育兒童書紹介

| 六叠一間獨身動人の御方|

天神町七四 栗田 電六

八幡町八番地 川瀬洋行貿易部神士保證金五十圓安米談 甲收金百五十圓安米談 甲收金百五十圓安米談

金融

1仲町九一 向上 社中込所能登町親和公司內小口信用負し

寫眞

何質館へ身を提り 一元九八番へ

5の五 水島電ニーベビハ 立替致升 大連市漢語町

大連の生気 であった。 本学光(第三號) 大連第二中 原校 一年生の作品 發表機關である、 一年生の作品 發表機關である、 一年生の作品 發表機關である、 一年生の作品 が思 第二中學校

牛乳

X A

牛乳

**電話四下三七番** 

たところで何にならう、吾々はの支配階級の老人連に何を訴への支配階級の老人連に何を訴への支配階級へ上田庄三郎) 数音界 初音町在電子 名 在 出 大黒町一二、大黒町一二、大黒町一二、大黒町一二、大、八鴉身夏人の

たところで何にならう、吾々は、としているというで何にならう、吾々はにこそ望みをかける、さらだ我にこそ望みをかける、さらだ我にこそ望みをかける、さらだ我にこそ望みをかける、さらだればならない、

ュチ

年乳 なら大正牧場

れなら大正牧場 「野町 「新七七七二番 九四八四番 「新七七七二番 九四八四番 「大八八四番

本子器修繕け 専門のヤナギヤベ 大連市浪速デバート内 電ニーセー

電話三三人軍・三六七 は常駆構のサクラすし

壽司

ヒシカワ薬局 須町一番地電車停留場前電話「二三八七番

電話三〇四小番

西公園町六九 常 お灸 町五丁目二〇一番地郷ハリ灸専門標院

モミ クサ 療治御婦みの方は 場隣根本難局電七八六二の三番を開発を表現の特別を指述している。

**参精** 京湖市原天堂 皇、電話三二〇九番

性病 赖斯二五 電話六四四 電話六四四 電話六四四 第 野中醫院

濟生醫院 沙尿生殖毒病 一大連三河町ニ・ 病征



●服用實驗者の喜び

(二例)

下の良薬あり

新 会 山 原 神經痛、かつけ、胃腸、小兒科の なやむ方は過率率下さい 原水鍼炎治療所館セハ五〇 石井家蓄病院 注射施行入院實 見柄の

灸冶

水部 筑後屋曾店

大連製水特約配達所 具洋服類舊發 大連正隆銀行衰通

大野商店水





をのせ、小口から巻いて、巻き縫に降いて細くしたパインアップル つた時、前の材料を持子ですくひライバンにバタをひいて、黙くな 目の御飯と茶匙二杯にパタをとか 一杯の牛乳を加へ、 玉子二ッをよくはの中でまぜて茶物と贈少々をふるひでふるひ入れ ライバンにバタをひいて、熱くなしたのをまぜこみます、そこでフ ン粉とまぜる時茶碗に七分の牛乳を加へ、これを前の 雕を茶色に薄いてその上

> 逸 語 講 大連語學校議師 荻  $\equiv$

tT b B pP dD da Dame Tempel Land dem dir bin Band P.! Lob

b = p. gG kK wW Ruf Feld Feder Flut Vater Volk von vor gut gab 最後ノ綴ノ g = k

外來語

Verb privat Motiv 本テル 電話七一五五番 内田勝院電五六五八番 無テル 電話七一五五番 ホテル 電話七一五五番

**店員** 入用離 店

外 \_ 100000 (面) 日案内 金八拾五錢金六拾錢豐金金十分

不用

美慶町七九番 大谷商店

大きいものは一貫二三百匁に 一大がものがありません、若し、職 に物を実味しく食べるには に物を実味しく食べるには

算盤の御用命は 塵紙

白帆 島級お 化性紙は 此印に限る。 破臭の三山島紙 酸臭の三山島紙 で単行形古

古本 一葉〇 特よく他店に出來ない 智質金融は確實迅速で 西通常螺橋震手山湖電四三六二年 領度勉強して頂きます 領機橋河鳴ミシン店電六六八四 取揃へて別りが

商品下意象

電話

吉野町六 名古屋 字一層便和

勉果一强各

唐木 漁速町二丁

四五阪

内り設限買数 七種並 世西でる民務 番は 山深通日本タイプ 名刺っての日本番 中書 邦文タイプライター 対文タイプライター イプライター同社 ルス番

書野り 一萬堂 電話 印 電話七八丘儿雪

貸衣裳 古着 さ続婚が、 で電バボロー番

通勤家政婦 安信會

本 大連常経機筋西 通角 キッ精工合産語三三六四

さき

F 機特別廣告一手取扱 大和國生駒

妊婦乳の御用数に題じます 養婆後野部子 大連市美濃町五七番地 大連市美濃町五七番地

作場光

和の関村見○ 和の関村見○ をおお纏の申し上げます。東京深川屋へ ともお纏の中し上げでもしましたが叉メ ともお纏の中し上げでもしましたが叉メ とし上げます。東京深川屋へ とし上げます。東京深川屋へ 大の 質は イタしたがら服用致しますと主人が歸りましたのでこの語りましたのでこの語りまりと二人で大喜びを致して居りますりと二人で大喜びを致して居りますりをし二人で大喜びを致して居りますりをして、一般のでは

北も皆貴家のお墓のお墓と照母最なる祭しい日を送つて居りますこなる祭しい日を送つて居りますことのはは協良

大和生駒の名談によりの方は色々迷はずるの良薬に依で一日も早くお喜び方の良薬に依で一日も早くお喜び方の良薬に依で一日も早くお喜び方の良薬に依で一日も早くお喜び方の良薬になるの月数を書いていません。

# 念記樂新屋社些年間五十二刊創被

年三十二治明立創

## 圓萬百六金本資

海陸農鐵

軍軍林道

省省省省

指

定

工場

# 急機能見越

印刷輪轉機專問製

作

地番二町國四田三區芝市京東 場工本地番五十目丁四芝本區芝市京東 場工分

北海タイムス社 東京日々新聞社 大阪毎日新聞社

用御

分取 營製常 工專 副 社 業作 務 取 部部 締 學務 祉 長 長 長役 長長役 士役 池 齋 今 池 池 貝 貝 井 貝 藤 喜 要 恒 庄 JU 太 郞 郞 郎 吉 ---眞

满 賣 新 聞 社 社 一 報 社 社 一 報 一 報 一 報 一 報 一 社 一 報 一 社

用御

へその上一層発制暴投後大

# 間空輸設備

スピード時代に遅れぬやうに

輸室路を開いてスピード時代の要求に膨じやうと云ふのであるが、實現の頃には北海道から 島の二ヶ所に飛行場を新設する豫定で、續いて東京、青森、 行くことが出來ること」なり。現在汽船によつて二盤夜を要する寒間へも随か入時間餘 航空設備を完備せしめ航空の安全及び夜間輸送の實現を ケ所に飛行場と新設する豫定で、緩いて東京、青鷺、札幌間、醍醐、寒飕間に、縮を完備せしめ航空の安全及び夜間龐茂の實現を臨ると共に、約六百萬圓を以びせしめやりと云ふ頗る大掛しな訛職である。それに依ると先づ旣設航空路の無 あるので更に第二勝計器を進めてあるが、終銀二千二百十周を以て來年度か遞信省航空局は日本航空輸送管社の東京、大阪、職師、大連、京社は定期空

が補回機に入り送に五壁四の接眼が補回機に入り送に五壁四の接眼 疋田君殊勳の三墨打 花田を併殺してしまった ではなど かんが という へび くストライキを 遊前に 焼ぎる で 中村 で せたが と しない と と らへ 中村 と かんが と して しまった 疋田の三里打

音野に戦打されこの日の殊職者で 関打を贈し前途離だあやぶまれて 居たが二三四回と呼渡を續け満倶 居たが二三四回と呼渡を續け満倶

青山ノツクアウト

をよく第つて居たのだから打ち気に出でた方がよくはなかつたなら らか然かも延田の凡打谈芥田の右 に出でた方がよくはなかつたなら 活躍は恋し大連のファンに印象付刺す八幡軍のピカーとしての彼の 艦軍のピカーとしての

相に名物信樂傳大野子を寄贈する

(E † ?)

いかしますが

高岡十一日發電通】富山縣下は 井市外の園道は約代里に取り三尺本町、矢田地方に大山崩れあり此 とう高剛市、代木町間の緊道、代 水砂紫多し どう高剛市、代木町間の緊道、代 水砂紫多し 水砂紫多し 福井市内の

浸水家屋

五百餘戶に及ぶ

して利車不通となり、十日午後七時半又便山崩れあり、線路を埋突時半又便山崩れあり、線路を埋突時で放離頻裂の北壁本線は今鳴三

4 6

生となり乗客には焚出しを給助十三分姫路設蓄山行列車はよ

7 5

に御座いま

(ch)

(日曜土)

ルマニア新帝

胆綱し依然恐糾中のところ今回新

謳はれた名人の名を惜んで 救つた檢事の前に

で二十九日の拘留説職を受け十日 東京電影判所に送られたが中村総 東京電影響を踏めたが、物籍は向ふ数 でご十九日の拘留説職を受け十日 東京電影判所に送られたが中村総 東京電影判所に送られたが中村総 東京電影判所に送られたが中村総 東京電影判断に表達し同機事に 東京電影判断に表達し同機事に 東京電影判断に表達し同機事に 東京電影判断に表達し同機事に 東京電影判断に表達し同機事に 東京電影判断に表達し 東京電影判断を踏めたが、物籍は向ふ数 東京電影判断を踏めたが、物籍は向ふ数 東京電影判断を踏めたが、物籍は向ふ数 東京電影神・ 東京電神・ 東京電影神・ 東京電神・ 東京電神・

即位式は九月二十一日或は二十【プカレスト十日凝電通】ルー 年周廿刊創紙本

優讀 抽

本社樓上會議室に於て・ 九月十日より末日までとす

景品引替

景品の總額壹萬圓 **| 當籤總數五千本** 

發表は九月五日本紙上で

福引券進呈

式京東 桐箪笥製造販賣 指物高 東京放送局 一等當人選 特約發賣元 新 海沿南 コッ 統計員消費組合的統合地電燈會社 絕對保 蓄音器兼用 内地聽取用 **月**赋先渡 K 柳霞堂 (日治館前) 型踩進呈 田邊商店 

題并市内は浸水五百餘戸に達し職 「関のはめい、一日中前十時窓に塩防決策し生 は十一日中前十時窓に塩防決策し生 は十一日中前十時窓に塩防決策し生

中等學生以上に

來る二十五日から一週間 **楠鐵運動會の主催で** 飲食店組合の 蓄融會解散

の間に野塚殿が行はれてるたが、 の間に野塚殿が行はれてるたが、 で下に創立したもので組合附属の の下に創立したもので組合附属の の下に創立したもので組合附属の ・1 に 財務既が行はれてるたが、 一般は組合の金属機関としての機能が開始を表現のでは組合附近の金属の金属機関としての機能が大連飲食店組合では組合附近の金属の金属の金属機関としての機能が行はれてるたが、 一般は組合の金属機関に対合から組合 大連警察署の慫慂で

五百圓を横領し内一千圓は遊製に五百圓を横領し内一千圓は遊製に 中行列を壁し明照寺にて施行の等であったが十一日午前二時十七分 田町根値中を梅村刑事が逮捕した。で捜査中十一日午前十一時千代署で捜査中十一日午前十一時千代 信社大連支社相原統 んつとは驚て大連醫院へ入院中社大連支社相原験治氏長女英子 日本電報通

> 大連市駿河町二一共間港州 品 器具間 記 プラシ類 ハンマー柄各種 花、 ヴェスローブ、ウェスエ 具、金物 本 御日 3 致シマシ 0 電七四七四 屋

OH

では、アーダ氏は長の版保上中間より独 を加えにあり出版の を加えにあり出版の を加えにあり出版の を加えにあり出版の

實法業大

10

戦

急激に増加

加清

試験問題と

答案用紙を焼く

前橋中學の怪盗事件

ライオン

首相に

焼物獅子を贈る

滋賀縣民政黨から持込まれて

濱口さんニコー

事となり十一日朝堤康大郎代爵士

店員のすきに

眞晝間搔拂ひ

院医原桐

ダイヤ入り指輪を

逢廓で遊興中逮捕

ロ土

命員一囘

十二日午後四時半

【前橋十一日】電通】十一日午前 出でに依り直ちに脱人援査に離手。 「時寒群馬縣立前閣中壁校数創室」した、同校は十一日から試験の確に経滅が忍び入り五年生の一野期。 に経滅が忍び入り五年生の一野期。 に経滅が忍び入り五年生の一野期。 こであった」め大いに狼邸してあ でであった」の大いに狼邸してる に経滅が忍び入り五年生の一野期。 こであった」の大いに狼邸してる に経滅が忍び入り五年生の一野期。 こであった」の大いに狼邸してる ちでも最も多いのは長

上海の

経東に於るコレラ協の病験ともいるべき上海には毎年六月下賦からコレラ患者が設生し登口、大連等に及入して満洲人を繋かしてゐるが、本年は幸ひに未だ衰生したとの報に接しない、このまゝ七月中 まだ發生せわ 7

たらうと見做されてゐるが、支那だらうと見做されてゐるが、支那だらうと見做されてゐるが、支那的別形不明の爲めに表面に現はれないのだとすれば頗る危險だとあつて衛生常局は萬一に觸へてゐる レラ

たった

海寶業 34 り官邸の質相器に触りつけたり官邸の質相器に触りつけた 日後二十銭 社會

最も適當の 界各國 端時女事務員を募集す希望者は本社 まで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまで申出られたしまる。 一、場所連鎖所店前納京場である。 一、場所連鎖所店前納京場である。 一、場所連鎖所店前納京場である。 · 酒 類

食料品

日本各地名産 珍

はなして下さい

限とえないの

を子の身を抱きすく

同僚の婦人に扱かれた

なにをなさるのです はなして下さい

お菓子……お菓子

低へおどりかるでうに、毎は態 回へはごとの間・一後子の同いて光つた。と瞬間・一後子の同いて光つた。と瞬間・一後子の

本質電--- 使子の一家では、中 子が熟におかされて、母の間りを

健康をせばめて来た。慌てゝきた 追離する車は、次第ペペにその

大は猫の美しい臓りたてられたタリスマスのショータインドの前を あきながら、似于に割る自分の姿 に、あまりにも不満な運命にさい に、あまりにも不満な運命にさい

なかつた。

二人が生きる爲めに、しのばな

と題と人間の職器中に必存す

己心海化吸收

る有機性破蛋白酸化合物と同 一集成であっますから完全に

造血酸器平刺

成して満して風球新生機能と

増進する効果があるます つて東麓と住民となし隆重と 增加して筋力を限大に致しな

の快趣に奏効して至身の根本 的改善工管心時孫俱顧之前る

るれ即ち本剤が変血臨風

吸收同化され

ブルーゼは

歌を背景が、こもかく等がかける歌を背景に聞きながら、優子はひただりに戦を走つてのが北て行くのだった。 ちてもなくだりながら、優子はひい、 ちてもなくだりながら、 漫の

にはいられなかった。

今の自分割の疑測を倭子は呪はずんそうしなければならなかった。

た。麒範に等の管装を信じた作い

ちよつと

B

6

中子の事が親じられてならなかつ中子の事が親じられてならながらも

まつて

出た。

泣くのだった。

腕をぬけて、車からころぶやうには、まだしつこく手をかける等の

へ來るのは、乾夫要である、便子

自動車を降りて、料足にこちら

**東木 元** 甲佐山三部

女の跳は、膨胀に火の出る思ひをすぐ前に停つた事を見たとき、後

敷はれた!

前進をふせぐやりに係車した

しなければならなかった。

あつ

を見

ていった。 茶の自動車は、等の車を迫ひ扱く

映畵キャスト

コー実婦マルタしより

子の管ざめた酸が、悪暗い電燈のや巡査や、同僚の男女がとりかこや巡査や、同僚の男女がとりかこ 下に押いたやうに随つて來た。 御留守に渡ちやんが… 奥さん

の酸へ自分の感をすりつけながら中子のないをひしと抱くと、中子中子のないをひしと抱くと、中子 - 生死の態をさまよふ はない。中子に飲ます糖の代をど

「窓貫夾百合子、三井泰三、大原 ・機と限をすえて 考へてるた。 ・人様と限をすえて 考へてるた。 だ、どうしてども葉の代を早く作

した観弦を御知らせ申上けます に歌き方に自分の勝毛になりま

CI三龍切手封入下さい)

池田はな子東京市外情を存む戦権下

な子

はい物を はい物を はでさせたいばかりに お前をひとり……中 かかんと云つて……中 ゆるして 母さんと呼んで…… 中ちやん

三鼻が高い

▲隆鼻器無粉貨臭▼

御相談に厳じます

作語 六 至 網 看 香

鑛

業所

attention the mental

差し出す國方號――に金版をしたなだめられる倭子は、宿の主人がなだめられる倭子は、宿の主人が 便子は狂ったやらに、中子を呼 **静かに渡かせて下さい** 大丈夫です奥さん **今通町廿二番地** 軍手現金卸賣

ぶのだった。

ハガキで申込めば競技見本を進るす 東京醫療器械製作所

M造—計算—鑑定 建築一設計—監督

宗像建築事務所

事士宗像主一

出

\$5

深き

缺ぐべからざるが セルン石輪に質の優良品にして使用至つて『便効果極めて絶大なり 絹物の洗濯に 必需品なり



級客店商 日本文會社大連代理店標郵船株式會社大連代理店 四二六四·五八八八 商 會

||日本郵船出帆

店商吉友澤圖 二町修道版大

館上語行

大阪商船大連支出

ケ月で高

「東京特学十一日数」文部省では にあるまじき不慎而な行為である 上、東京特学十一日数」文部省では にあるまじき不良而な行為である 上、東京特学十一日数」文部省では にあるまじき不良而な行為である 上、東京特学十一日数」文部省では にあるまじき不良而な行為である 上、東京特学十一日数」文部省では にあるまじき不良而な行為である 上、東京特学十一日数 1 にあるまじき 1 にあるまでは 1 にあるまじき 1 にあるまじき 1 にあるまじき 1 にあるまじき 1 にあるまじき 1 にあるまじき 1 にあるまでは 1 にあるまじき 1 にあるまと 1 にあ

のは事實だが北軍の作戦は職に 連続してるる際北方としてはこれ を陰礙なる策謀と駆め容易に 記解を與 へてるないとき

は徒主事の殿選方針を執り一帯時 生徒主事の殿選方針を執り一帯時

たのは蔣介石氏個人のみで若し将 と勝戦の容易に解決せざる場合をと勝戦の容易に解決せざる場合を

院特別職會は本日の間を開会

■結して來る事を同門しなかつ があらう

不上院の特別議會

人のみで若し新

ロンドン會議に赴かれた若槻。

新歌歌館 ・ 東京十一日 ・ 東京 東京 ・ 東京

(日曜土)

職僚及び與繁幹部販飲館際 駅僚及び與繁幹部販飲館際 場でして電機関

断割した

この頃頻發する

所より覺書を送る

海軍協定

學校騒動の對策

主事を嚴選し取締を嚴にす

にして閻錫山氏の戯嘘たる甑以歌との消息が選らされ天津増棚扇長

フランスは本年十二月迄新艦 信ずると述べた

月午後二時より本部に政務勝斉總 | 司令官は膨緩の如き豫定の巡視を 『東京十一日殺電通』民政黨は十 | 【是春特領十一日殺】 劉州開東戦

小坂次官の動靜

けふ旅順を視察す

政府に左の戦害を送っ

何に依り三ヶ月内に翻定の成立を陥して同長官はイタリーの態度如

、その間に佛伊斯博は海軍協定 整造中を中止し現勢を維持す

製鋼所位置

【東京十日 記電過】 實際院の子談本多忠郷氏の確認選事保証をなし大多數で権材家治子常選正式選事は入月三十日執行さるる等

子爵議員豫選

では多くの人から色々の意見もいては多くの人から色々の意見もいたが一字も感心するものはない。全く健石満度総裁の口吹っ

陳情聽取

民政政調總會

菱刈軍司令官南下

るのみと。

 $\Diamond$ 

大道を進む、ただ障害物は挑殴する他なれば從深の如く監理緊縮ののは監理緊縮の

枚湾策につき各方面の情勢に基き各氏から交々意見を開陳し且つこれが 戦し瞭疑を共にした後隣ロ首相の終郷ありて城界戦闘監督に入り主として不景氣打開、失業 首相以下各閣僚、鈴木巓長、興黨側から各總務、榮事長、傳報部長 政務調査會長 各幹部四十餘名出

上兩相主として政府の方針を説明し來年度

並びに各方面の希望に鑑

育相以下希臘僧、鈴木織長、興驚鵬から各總部、榮華長、懷聽部長、政御聽査館長、祭東京十一日愛電通」政府與無幹部との懇談館は十日午後六時から育相に既に開倉。

政府、與黨幹部懇談會の席上で

徴取しての打算によると

支那の風閣恢復には同情を恢復と心得るもの」如きが

領口首相等方針說明

認解を求め更に陸海軍人輸問題、国民負擔の

被及びロンドン体的問題について意見変換し十時半般輸した

緊縮、産業合理化に限る

一節は既に徐州に到藩したこれにの階級を以て更に融神線の總攻職氏のを開始するものム如く金銭脈氏のを開始するものム如く金銭脈氏の地攻職

一般することに決定したものと如く を注述せしめ石友三軍と呼應して 津浦線から進んだ山西軍の攻撃を 連浦線から進んだ山西軍の攻撃を ではあった。 を活動せしめ石友三軍と呼應して を活動せしめ石友三軍と呼應して

してゐる

和平運動と反

蔣介石氏の下野が實現すれば

● 選送しつ」ある一方簡単に在る ● 選送しつ」ある一方簡単に在る

御用を放棄し同方面の軍隊を徴受

東軍の北上せざる機先を制している。
東軍の北上せざる機先を制している。
東軍の北上せざる機先を制している。
東軍の北上せざる機先を制している。

製鋼所最後陳情

州内設置同盟會から

と述べた

色々意見あるが

一も感心せり

濱口首相の演説要旨

が一次には政策精神の意思 れたが政府には政策精神の意思 長から

時局切拔

自信がある

武力解説の容易でな

の在野政客を動かし南方におり娘近では或歌のしゃは北方

かして は谷方蔵より相當注目されてゐるとないて 種の運動がつよけられてゐることが際、既等の長引く整蔵にこの知めとす しゃらと主張しつゝあることが際、既然の長引く整蔵にこの。 は谷方蔵より相當注目されてゐること

荷物の軽張ひを開始するに當りへ架部は歐趾選絡會觀による直通小型のととは、

物開始

歐亞直通小荷

動かし南方において

人は前記の王一亭氏等を除る

心らずし

首相、與黨幹部に斷言

的質問が在つたに跳し政府は條約

を成立せしの當面の時

景氣打開策は

# 凸版"銅版" 久保田

秀を離ふとそれが強調となり

走

馬

那の野外態度は、此利得酸飲から云ふと、當今に於け

過去から東支鐵は、滿鐵に踏し 村得を罪ふとそれに損失を

得機等の態度にあったが、比

りも一般定に

ならざるものに於てを

かの量見は低々悪い。若し更に此か協定が善い。若し更に此か協定が善い。若し更に此

最小期せば猫を噛む、沈

皮那の民衆は克く之を何る、 関民都なる新庭院のドに之を解 へざる如くして、我和私態の當 に之を致てし、國家の職心を皆 に之を教でし、國家の職心を皆 れであるから亦進んでは、國

歐洲聯盟と

総り十一日八時三十分長春壺州車にて戦除側ならびに官民多数に見

わが方針

芳澤大使に訓電

打合せ

民黨は民衆に獣し戦闘だと云ひ 民驚は民衆に獣し戦闘だと云ひ

民族の販売を必要とし、徒に國民族の販売を必要とし、徒に國

東四省首脳に斯んな世見遠ひは

この残ひを有っと、そこから日本の清潔に於ける特徴に、不圖すると支那から利得競争が思らすると支那から利得競争が思ら をとの日本政府の意識を佛政府に優 たならば日本政府は石斯盟組織 に区割するものでない に主題を侵害性ず且つ歐洲以外 に区割するものでない に区割するものでない に区割するものでない に区割するものでない は日本政府は石斯盟組織 は日本政府の意識を修政府に優 は日本政府の意識を修政府に優 相ブリアン氏の振唱に係る瞬間 関連を でるたが幣原外相は九日夜野連 でるたが幣原外相は九日夜野連 でるたが幣原外相は九日夜野連 が買力不政府提唱の歌音 に主国を侵害せず且つ歌音 に正理教方るものでない に反對するものでない に反對するものでない

を確むべく十一日午前九時致赴飯の歌向都設置地で等につき開東廊の歌向都設置地で等につき開東廊の歌向都設置が関北のでは日下駆殺中である。別東の歌をはいく十一日午前九時致赴飯

線列車

施一酸家ついたので来る二十日頃 ・一般家ついたので来る二十日頃

土地が變れば、

線方面に

反蔣派佐

作戦を練る

制南を

住居は東京牛込市ケ谷仲の町四 住居は東京牛込市ケ谷仲の町四 中国出戦の香港丸で闘ぶすと、 十二日午前十一時

所長)十日午後八時中産列車に所長)十日午後八時中産列車に 

本市御醴のため十一日各吉氏(種組聯合會理事長)

で 会を開き昭和製鋼が設置の候補地 した後意見交換の総果交貨を撃げるに決して機の総果交貨を撃げるに決して後五時飲 氏(愛知縣商品陳列所

明氏(愛知輸出協會主任) 神氏(名古屋市産業部長 神氏(名古屋市産業部長

十一日市内各方面を

() では、 () で G氏(九大教授) 同上 明明ららる丸にて内地へ 田帆ららる丸にて内地へ

基る掛び呼 をかりと 「利売名人澤市は をかな肌を 「なだ」 「でなだ」 「でなだ」 (古典) 美名虎狼心(聚聚聚 中心) 林郎 (名作) 悲戀反鬼記(縣鄉) 《晚晚歌 · 中心 大倉 (本作) 悲戀反鬼記(縣鄉) 《晚晚歌 · 唯風

新婚。離婚再婚史

▲岡茂氏(三菱哈爾賓支店長)同上

大觀小

觀.

◇コンタルの結婚哲學……
◇好製者デーラーの滿足?
◇好轉婆で尻輕娘ギャーロッ会超露出 狂クララ・ボウ……

書置此文

(鬼没) 化人 

○●の一般では、一日の一般では、日本の一ののでは、日本の一般では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一般では、日本の一ののでは、日本の一のでは、日本の

製と不懸無との謎治に存する。 間間に

欄說小

十一日(南西の風)隋一時最

五十十二二二二二作 分五五六九九九七十分 分分四二三〇九高

行 受けたが、約二十分間にして離去 を 心に まけたが、約二十分間にして離去 を 心に とけ、 正午 特徳、 約二十分間にして離去 を 心に まけ、 正午 特徳、 2000年 200

と答へコープランド氏は更にとすったに、一旦東洋に初ずが理ると比較変の削減を見てるないと解説の認思を聞い、マッケーの修正窓の製みに繋するロピンソンンの修正窓の製みに繋するロピンソンンのでは、たがが、質何等のでは、たがが、質何等のでは、たがが、質何等のでは、たがが、質何等のでは、たがが、質何等のでは、たがが、質の等のでは、ないと解説に繋がる。

るるものとは考べられない歌もあるものとは考べられない歌もあるものとは考べられない歌もあるものとは考べられない歌もあるものとは考べられない歌もあるものとは考がないか

兵役審議會幹事會

防止具體案作成

/ 營に因る失業

第一番目的は官公場及び民間會社 は一番目的は官公場及び民間會社 は一番目的は官公場及び民間會社 は戦事館にて作成する事となったは、大変質行するに決しこれが具態を

恋産中間三派結 日本大衆黨、全國

八百六 七

**季宮さまは** 

につき核原機組職合幹主事は

間違ない 大日活食堂の談 六月分の在商電線内地震選駆者合 大月分の在商電線内地震選駆者合 大月分の在商電線内地震選駆者合 されて出幌した、網頭の内灘は解 されて出幌した、網頭の内灘は解 であるが、場頭におい て大道電域院長電頻電路に 乱略 であるが、場頭におい て大道電域に入駅近く上京する 世間に守備隊その他の入除職所に概ね一回知恵者を内地に送つてゐるがその数は五百八十四名に乗り毎日平均二十七名となった乗り毎日平均二十七名となった。 である、その間常に感じた事は、 である。

照い間用欧に御避場あ

で東京十一日漫電画」天皇、皇 中一時五十分退子瞬間でにて 十一時五十分退子瞬間でにて 十一時五十分退子瞬間でにて 十一時五十分退子瞬間でにて 十一時五十分退子瞬間でにて 十一時五十分退子瞬間でにて 十一時五十分退子瞬間でにて 十二十分退子時間でにて 十二十分退子時間では、 1000年によって 1000年によっ 100 既におきりあらせられ九月初め野歌式に親臨のため富日は御聞のため富日は御聞 

葉山御用邸へ

**保険列館にお成り製物御観賞に** 「ロンドン十日登電画」高級宮 高松宮兩殿下 十日の御動器

うどん。そば。値 **麺類業者に悠通す** 一割以上値下はならぬの一項削除 大連署保安係から

五

ふ人能が少くないので『脳梯大いに地離されてゐるりのためや量食べた中には膜下りをしたとか、腹痛に懈んだといなかつたゝめ中職者が緘出したとの噂はあまり聞かないが、噎が明かに腐敗を思はせるものがあつた、それで多くの者は手をつけ 等の解演は自由学並に大日活食堂で らの問題のため著るしく要味して臭気素をつくるの多く。中には **熊富は自由亭並に大日活食堂で調製したものであるが、折かウイツチ並に洋食繁富(一縦一圓二十銭)を饗應した。これ時間登そのコーニアンニー** 何とも申譯ない ハムが惡かつたらしい

試験を行った【寫眞は關東倉庫前出發の六輪自動車】

同大尉は十一日午後零時三十分大連發、旅順まで同自動車の性能 管際のため新庄大尉に同自動車一臺を携行、大団に派遣したが、 関産品獎職の整喧しき指柄、建軍省ではTGC型電用六輪目動車

お盆を迎ふ貧困兒童に

浴衣を一

失業者家庭に仕立を依頼して

請負つた自由亭恐縮して語る ペムが悪かつた機です。材料も などもで買入れてやりましたの で質任は全く私どもにございま す、早速輸入組合の方にも割り に参りましたが何とも申興のな いことを致しました

松原輸組聯合會主事談 られず

の一助とも仕憶と云ふのでその仕立てを失爽家庭の主婦師入し一ツ身、四ツ身の着物二萬四千校を作り賢樹家庭、中少女のため湾『首相夫人婦も各牌館、鈴木翰長、丸山の東京十一日碧電道』お絵を纏ふるのにや黒瀬のため新

緑等に依職する単となり、十日警息底底に贈る事となり、且つ失業家庭救済

って仕立てさせる事となった

山麓影響に等の各夫人が否衣一萬反を新しいものも着られない気の震な幼少

から谷器に反称を配給して町村の青年職等と職務をと



日支兒童の交驩 けふ夏家河子で日本橋校と

出來る。州内で最も有望なもの いだだけで州内産薬の合理化が いだだけで州内産薬の合理化が

一つてみるから申出で、覧かたいと 尼田常蔵、松原喜六、片岡和太 郷、船木選太郎、清水英男、大 石喜一、山崎原市、相居養則、 小林司馬、中山武男、石谷文郎 池ヶ捨二、高機甲子、村上重之 進、小田常夫、吉田保一、石口 渡過圓四郎、大矢骨雄、福島仁 三郎・見可正美、佐養有、祭中

ではノア十一日級電通』デヴィスのアは、カップは、よく(今日から三月間を地で開かれるが、日程は十一日シンダルス原田、阿部對モルプルス原田對モルプルス原田對ステファン、太田對ステファン、原田對モルプルス原田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對ステファン、太田對

船ボーイの八方ぶりのニコやかな等に補貢、三等も入分通りの楽客

がいた前地方部長保で歴史に行つてくる。どこにとい に行つてくる。どこにとい に行ってくる。どこにとい

果つた全國よりの知名士で一、二十一日出版のうしる丸は見本市で

西川博士、保々氏きも内地へ

けふの商船うらる丸

来る二十六日から八月二日までの 東る二十六日から八月二日までの 東る二十六日から八月二日までの 大張場小樫娘で高野中佐の手に より執行されるが、郷田先不明の ため歌呼令獣の交附不能者左記三

けふから

デ盃歐洲ゾー

十一日設電通」デヴィス

伏見臺公學堂の女生徒達が

【金澤十日編編画】金澤市に本社

と薬湿い意見を持つてさきに来連した九州大學養養西川虎吉博士も 目的通り関東長官にも會つたし 三浦内務局長にも面會できた。 そして私の方からも抱負を述べ たり意見を吐いたりしたが、何

**刈頭灣で** 

欧州スポーツの人がは

黑姬丸坐湖

その他哈爾賓三親支店長職改氏、 三越で開いた個展で評判をあげた 楽車鋼一鑑假、高麗士寺鳥由松山 前吾妻鮮景鹹井京治氏等も同断で 同情の判決

からね

神戸黒蛇海船台養倉社所郷黒蛇九 神戸黒蛇海船台養倉社所郷黒蛇九 (四、六〇九順) は十日午後十一時半濃勢のため旅順管内双頭鹿 (四、六〇九順) は十日午後十一時半濃勢のため旅順管内双頭鹿 (四、六〇九順) 内に坐別したが十一日午前十時の浦棚時を利用して

田鑑盗用の訴へ 語比須町五六聖術整修門記案上野 がでいる共同經濟者たる莊山俊 がでいる大学術整修門記案上野

一枚 **地**七十級より

組十三周迄

华打

及

商

切

一打二十圓遊

香水上計合化粧品

三十五圓道

(<u>=</u>)

**逮陽大矢組の** 

等は建物六千圓、馬雅一萬五、六 等は建物六千圓、馬雅一萬五、六 の一十分ごろ市内圏、木町町駅長配 の一十分ごろ市内圏、木町町駅長配 で部を燃火、午後十時四十分ごろ で部を燃火、午後十時四十分ごろ で部を燃火、午後十時四十分ごろ で部を燃火、午後十時四十分ごろ であるが損

き、閉會後そのまゝ一同を大川活並に常線座に紫内し二千種のサ同六時より縁由者並に市中各方面の有力者を指標して鞭告會を開同六時より縁由者並に市中各方面の有力者を指標して鞭告會を開

招待され

た満洲口本市のお客御難

時節柄に批難の聲

大連から旅順へ 軍用自動車の性能試験

損害二萬餘圓

我子可愛い

一千圓の見込み

大大・ 我子可愛さの親心から長女を相手 一般の長女都は大正十五年五月、市東黒石礁九六五に居住してみた。一市内信濃町九五番地球山脈 ラキソ(こ)を伴って来達し駅 かいの長女都は大正十五年五月、市東黒石礁九六五に居住してみ でいった 一市内信濃町九五番地球山脈 ラキソ(こ)を伴って来達し駅 カー・ベレッカャ(こ)を伴って来達し駅 カー・ベレッカャ(こ)を伴って来達し駅 カー・ベレッカャ(こ)を伴って来達し駅 カー・ベレッカャ(こ)を開くして自然 (本) 大田田田道湖州土木建築協館書記末 「場のバラキンは米年の脳域の大田田道道州土木建築協館書記末」場のバラキンは米年の脳域の大田田道道州土木建築協館書記末 「場のバラキンは米年の脳域の

ではエカリナ・ベレクカヤ(To)に で振ってゐるホルワット勝軍の で振ってゐるホルワット勝軍の

二日論示談表を命じた

は の外に明子つじか数があって軽を 相 微人際深しても相 微人に缺くる ところがないので 耐家の 幸福のため原告解訴の 判決があったもので

借金して各方面に大迷惑

書渡る水

に諭示退去 十国の状形に対し大十国の開金をた爲め精神騰順としてこの事件をない。一般要に同情し配金八別官も被否の場遇に同情し配金八別を記したものである。機築官も のであるが、郷密は当件の数日前 から緑魚であつたに捕らず車庫料 から緑魚であつたに捕らず車庫料 から経過であったに捕らず車庫料 から巻りかれると月吹削が五十 着から差りかれると月吹削が五十

で、網を押して仕事に從事してる。

利根フトン専門 連鎖衛京な 洋行

世智辛い話

、二三十圓りしばしば、新寄附電話即金一、賣價は特別御相談に應ず、新寄附電話即金一、賣價は特別御相談に應ず、新寄附電話即金一、賣價は特別御相談に應ず、新寄附電話即金一度 大連市西通り三五大連市西通り三五大連市西通り三五大連市西通り三五大連市西通り三五大連市西通り三五大連市西通り三五大連市西通り三五大連市の架設が出來る

金整理の為手持電話

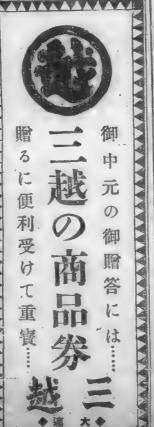
太田茂樹

人兒 科科科

**尺連中央電話** 

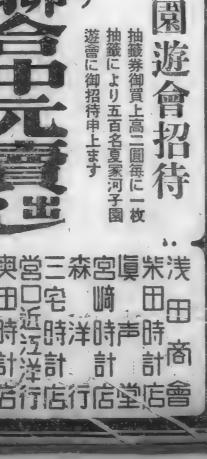
へらの美學

合はない」と現場り一個五十億を 受け取つて立退つたが、せちがら くなっと道義が履れるものだと法 CB A 樂第 種種類器回



御中元の御贈答には……

三越の商品券 贈るに便利受けて重資……



抽藏……七月十六日 抽籤により五百名夏家河子園 抽籤券御買上高二圓毎に一枚 遊會に御招待申上ます 七月 は 10

中元。御贈答品 クレープ肌衣 4打 一圓五十銭より 一打二十四省

時計、銀器、金屬器、貴金屬 グルはこれで TORREST OF THE PROPERTY OF THE

製品で中元の御贈答品 只今抽籤券付賣出中十五日まで は 大連 連級街電のここへ八

奉天 看日万 電二〇三

△有資格者 支所新設に付支所長募集 人事に精通し至誠公明努力する人 永年其地在住者にして 相當養難信用を有し 啓口、撃天、撫順、四平街、長春、哈爾賓

電話寄附開通中語院 へ、 等附開通料 金三百三十圓(老虎灘、星一、 等附開通料 金三百三十圓(老虎灘、星ケ浦は金四百三十圓)を申請の際強納 ケ浦は金四百三十圓)を申請の際強納 (本) を (

いと 心勝買會當籤調 分夏組五**一番**流 會社 古田高 管理 古田高 管理 古田高

有者當方支局員と稱し各處に於て 原告職務致居候極に候へ共常方は 原告職務致居候極に候へ共常方は 連話安置 を活った正直洋 を活った正直洋 をで出来ない御相談に 大連一高質質の 大連一高質質の 大連一高質質の 大連一高質質の 大連一高質質の 大連一高質質の 大連一高質質の 大連一高質質の 大連一高質質の 大連一高質質 大連一 年ぶりだ

用五郎がからお力をよぶのも仕

「この母を見る」

この母を見る」

讀者優待割引券

福上七十銭 階下五十銭

満洲日

報

讀者優待割引券

階上七十後 階下五十組 との券持 参者に限り

滿洲日報社

あつてゐての、酷の怪我も昨夜の「この三碳。大それた仕事に動り

何の祭りもなければよ

もんだなア」

おい見えたか、こりやアまで味

なったのほ左近だった。

にひき合せ、草に手をとつて違いとも知らぬ重五郎、お楽をお刀

が、三殿は左近のことが悪にな

あの川魚の……」

お祭はあたふた。概はしごを贈

『どうしたものかなア、と、とん重五郎はお楽をもよびあげた。

三臓は常欲しきつてゐる。

お力の唇を擦へた三酸、 であつしや下御壁の通りのザッカ を、そんなこたア水臭えや、どう であつしや下御壁の通りのザッカ

更近郎の言葉はうるんでみた。

能びてよいやら

かつたな」

電光郎にとつては十年よりの野に、昨日すませてみたが、さて改一、昨日すませてみたが、さて改一、昨日すませてみたが、さて改一、野には、またのでは十年よりの野に

命運

▲議曲(三井寺)福岩鑑之、同マサ辰雄

ぬれ切

講座(レヴイユー漫談)氷田月十二日午後八時二十五分

め 諦

○ 「一会 「一会 「一会 「一会 「一会 「一会 「一会 」」 「一会 「一会 」 「一会 「一会 」 「一会 」 「一会 」 「一会 「一会 」 「一会 」 「一会 「一会 」 「一会 「一会 」 「一会 」

諦 を H

清荷

「やい 三酸、どけ えゆかう てんとなりつけた。

「さて三蔵・・・・」

ち、焼めて重五郎と飾見合せたの左近から身の素性、明されての

「あッ、」

て……、もう左近線から逐一承は「あっ、お父つあん、今 更改つ

別金

题6年

塚

龜太

生膽

(169)

大連棋院臨時稽古基戰

二 五四

鳴尾 消人氏

二四四五六

「何んだ縁々しい……」」
「何んだ縁々しい……」
「おからとび幽つた疲れに、うと
をいまとろれでゐた重五郎、ファ はからとび幽つた疲れに、うと
がどうやら云ひ鍛つてゐるらしい
でいるが、大事な壁面を控へてと
こかへ出てゆくらしい頻配を感じ
医あせた態度、からたころたはは
いっきなり樂屋のれんをかかげて
て、
いきなり樂屋のれんをかかげて
て、
この中に、と
の社に続むしらの歌。「時間子には
はは
こかへ出てゆくらしい頻配を感じ
医あせた態度、からたころた住
はは
こかへ出てゆくらしい頻配を感じ
医あせた態度、からたころた住
はは
こからいらない。 

お力はちつと三歳の戦戦を見詰 とも限らな今 は重五郎がゆるさねとも限らな今 だすか、その一覧によつてあるひだすか。その一覧によつてあるひ

てゐた。

面五郎がふるえる際で唇をきれ 本日限り

映然の「唐人お吉」を到切すると 映然の「唐人お吉」を到切すると 河合「唐人お吉」 返送さる 

宮元三郎に送河鑑賞を催すが徴組時から市内近江町自井郷繁にて高 高宮氏送別謠會

實館の休館

▲三曲(まゝの川)(尺八)奥村遼秀 (明)中島勾営(三味 M) 伊藤夫人 (第)安藤夫人 京

夢

の

· か

愁

哀一 か

連 JQAK

牲 犠

約がこの程正式に成立しとのこと

亟

の

5

● 九八八寸 の 九八八寸 の カ九四 りの カカロリの カー マー ストラックの ナー ○ヨののの十十五 四二二二五 -- [ 5 ] :--

1

のなの花春いはがのか

散朋 る

嘉本山·子蓉村梅 監督 二健口溝是 原郎三義谷



開公時同市都大十點二日十

努取极 四半の合理化 合資會社 德洋 大連高級的六一番地 電話219/9苗 行

一十十十 七五五五 錢錢錢 被圓明

理子焼ぎ仕り食丼丼丼

御自中天親蒲う

5 う よ 83

て L

經發賣元

藥秘法秘朝淸 偏頭痛、肝臓硬化、腎腫炎、糖尿病、脂肪心、 動、精神過勞、勢力過度、腦力減退、肩腰小凝り 大、夫婦愛の天糧なり を軽、老麦盛弱者、白愛、白鬚・脱毛・不眠症・健 動、精神過勞、勢力過度、腦力減退、肩腰小凝り痛 動、精神過勞、勢力過度、腦力減退、肩腰小凝り痛 動、精神過勞、勢力過度、腦力減退、肩腰小凝り痛

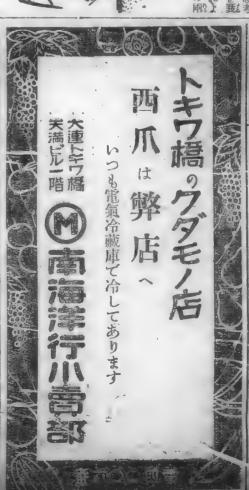
劑壯强養滋

朝服んで ◇老衰と倦怠の一掃 言料の健康 晩の 1 3

これでもかり









對外貿易

消極的に出超

百九十六萬七千四百二十七圓で、 七千四百六十一圓の減收である。 七千四百六十一圓の減收である。 大七千四百六十一圓の減收である。 大七千四百六十一圓の減收である。 大七千四百六十一圓の減收である。 大 満鐵線の六月中に於ける收入は五

七月上旬の

ある(×印滅) 

錢信手數料半減問題で 兩者の水掛け論 『信託あつての取引人』

野し不満の壁が出てるる雨者の意味し不満の壁が出てるる雨者の意味となり、 取引人艦では信託の不総意にり、 取引人艦では信託の不総意に 『取引人あつての信託』

端境期迄の

連布、野子健園の参及問題について 大津海関の参及問題について に揺ぎば目下監督部数武氏を に揺きが難しついるる一方合 に揺きが難しついるる一方合

需給豫想

見を記せば左の和くである 門に記側 出來高が旺盛になったから値下げしてくれといふのは理館に合はない、現在信託の教育教教收入のみである。この情子教教收入のみである。この情子教教收入のみである。この情子教教を出版である。信託が困窮すれば順別である。信託が困窮すれば順別である。信託が困窮すれば順別である。 電然なことである、又現在大連 市場は世界的市場に開進しつあ 高無暗に値下げ等は出来ない ある、子教科を値下げ等は出来ない である、音数科を値下げ等は出来ない をやりよくすれば取引人あつての履 影である、音数科を値下げして取引 をやりよくすれば取引人が活況 をやりよくすれば取引人が活況 をなるに電然なことである、ゼ となるは電然なことである、ゼ となるに電影なである。であ となるに電影なでが信託の本来の目的 となるに電影なである。であ となるに電影などである。であ 政務委成と種々打合せを引した結。 東資本を満洲に投下せんと意志を 長示したので更にドイツ代表が來 長示したので更にドイツ代表が來 長示したので更にドイツ代表が來 表示したので更にドイツ代表が來 表示したので更にドイツ代表が來 表示したので更にドイツ代表が來 表示したので更にドイツ代表が來 表示したので更にドイツ代表が來

二百萬石滅

新物に通じてるる 新物に通じてるる

のした。潜氏は多年間線山田 南京外交部の事に順じた外で 南京外交部の事に順じた外で 東として各方配に派遣された 東として各方配に派遣された 東京外交部の事に順じた外で 東京外交部の事に順じた外で 東京外交部の事に順じた外で 東京外交部の事に順じた外で

期までの需給情況を推測すれば次 地の数字を基礎として本年度帰境 の如き結果となる 本月一日現在高 二一、 在の在米高は二千百八十四萬一千 在の在米高は二千百八十四萬一千

無給合計 二三、六九一、九七〇 五八〇、〇〇〇 八七0、000 平流市のは が 市内は 家院に 一関 ・一関 ・一関

同朝『木移入見込高

ル發用 



八十萬二千圓、離入二千五百六十となって離く出超に駆換して來た 展京十一日愛電通』七月上館に たける紫外貿易線は(総位千圓) を 大七、七二九 一二、三八八 一二、三八八 一二、二二八八 一二、二二八八 一二、二二八八

錢取委託手數料 値下論再び擡頭 反對論も相當有力

大連線的取引人間では最近交換形 る。今回なこの間離が る。今回なこの間離が る。今回なこの間離が る。今回なこの間離が る。今回なこの間離が る。今回なこの間離が る。時者の意見は大陰左の如くで あるところは殆どなく需引は公然 のであり、盤下げ反點の代表は 型曲は現在空間 あるところは殆どなく需引は公然 のであるが、現 現在と比較すれば十五圓となつてあるのに 関連は十五圓は少し 関連は十五圓は少し 関連は十五圓は少し 高すぎると思ふから十頭位に下 であり、金下げ反點の代表は 現在と比較すれば十五圓は少し 高すぎると思ふから十頭位に下 であり、金下げ反點の代表は のであるが、現 現在と比較すれば十五圓は少し 高すぎると思ふから十頭位に下 であり、金下げ反點の代表は

浦鹽港積より

大連港積が有利

の存物となってある、この度は増々なる。 規定十五國を十國に一致してはと 規定十五國を十國に一致してはと 規定十五國を十國に一致してはと 力・方の気受けもよい、又十國 は光方の気受けもよい、又十國 は光方の気受けもよい、又十國 は光方の気受けもよい、又十國 よい、其れは七月一日から大連部 涌型港ではこれに匹敵する巡覧を の存物となってある。この度は増々なる。 規定を十五國にしておけばマが 規定を十五國にしておけばマが 規定を十五國にしておけばマが 規定を十五國にしておけばマが 規定を十五國にしておけばマが 規定を十五國にしておけばマが 規定を十五國にしておけばマが 規定を十五國となってある。 文十五國を開産にしたいと思ふ などを順重にしたいと思ふ などを順重にしたが、油圏となってあるのに は、東域、 浦港商船隊に は一覧・コー、 一覧・カー 1 は一覧・カー 1 は一覧・カー 1 は一覧・カー 1 は一覧・カー 1 は一覧・カー 1 など、 其れは七月一日から大連部 油圏ののではこれに匹敵する巡覧を は一覧・カー 1 は一面 1 は一面 1 は一面 1 は一面 1 は

發達せしむべき

をりては全く石の膨帯装置貨物で在する商工業者の被むられ中間輝に存在する商工業者の被むる苦痛存在する商工業者の被むる苦痛を大なり、一例を零げんか率天より長春哈爾賓の近接地には小口道没荷を見るが如き、之れが偽め長春哈爾賓の近接地には小口道没荷を見るが如き、之れが偽め長春哈爾賓の近接地には小口道没荷を見るが如き、之を要するに満個便益を置るは敢て不合理なる運送行はれつ」あり、之を要する運送行はれつ」あり、之を要する運送行はれつ」を対しては其の運輸政策より、表しては至いである。

満洲の重要工業

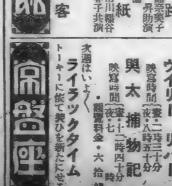
紡績、製廠、毛織、作覧の分 經調小委員會答申書

でなる運賃偏度の改正を要がある。 ですると同時によの他 ではますると同時によの他 ではますると同時による。

◆…うどんの原料たる要称 年來の安値で一袋が二関 見當くどん玉一つは六国

郷製がとれる物だっこれ二銭だから五六種に置か

返應



東亞週間

獨逸が満洲に

資本投資を約束

視察園と政務本

員との打合せ

但し進捗の度は疑問

変別内地における商工競技医療察 のため過日來率せるドイツ實際観 のため過日來率せるドイツ實際観

無出見込高 100、0 需要合計 一八、八一八、○ 一萬七千五百六十一石に比 一萬七千五百六十一石に比 一百十五萬石の減少を來す

天津海關の

**副稅務司任命** 

| 日本 | 100 - 九 | 120 -

公 公 公 公 

元枚 元、五、公三周二章枚 元、五、公三周

(銀貨) 「西側やは

(何が後女に)×ぐ前頭大映画 (何が後女に)×ぐ前頭大映画 (何が後女に)×ぐ前頭大映画 (一個が後女に)×ぐ前頭大映画 (一個が後女に)×ぐ前頭大映画

止安高器

雲天滿草紙



船隊の各種間と目下研究協議中で 東線にてはウスリー代表、浦連商 の方法を論じて敬しいと交話

8

(四)

半期貿易は

必らず好轉

契約無視山西派が

いか出れば何もならないではないかが出れば何もならないではな

【天群十日發電通】山西厥

挾雜物混入

程度が纒り難い

利害相反し一致難の

製油原料取引統一改善協議會

棉花輸入一巡、生糸輸出增

◇…井上藏相語る

朝鮮木炭增產

朝鮮製鹽

印度銀利下げ



て露支間の

接觸は決して圓滑なる「過去の責任を傷抉してもである。否、昨年七月(東北政権、南京政権ともである。否、昨年七月)東北政権、南京政権とも

軍縮剩餘金に

よる

大藏省の滅稅計畫

空軍充實で却々困難

一下年 「東東特別十一日別」ロンドン線 は主力代戦型として眺政上閣保さ 府常局者並びに興黨除部間では一大大統領では 「大人間」 です智質的に有効なる跳縦とされる 政府の緊縮政策にも著るしく抵機 即ではこの際日銀が利下を行ふは 振いてはこの際日銀が利下を行ふは 振いてはこの際日銀が利下を行ふは 振いる。

調車権利益なるものとしては、として居る、然るに方

っの一様はれて居る程である。されば政はものが製して測能なりや否やさへは ものが製して測能なりや否やさへ

意見有力で種々研究さ

人具體化

葫蘆島築港と

海軍首腦會議如何に拘らず

條約御諮詢と政府

は英他の代格戦略の本の大学は六月末期末に対して、MI屋の路域を示して、MI屋の路域を示した。 夏休み前に奏請

が郵便貯金利下げ日銀利下げとなりるやも知れ口」と言明した事實 り具體化するものと見られる

四大海軍百職部會議にて新國防叛

を出來るだけ急ぐ積りである を出來るだけ急ぐ積りである を出來るだけ急ぐ積りである

| 東京十一日愛電通| 阿部院| 理は十一日干前九十年を内陸|

陸に開発した。

十日決議文を電請

るので改正統においては資産運用 一、大口投資については一×主務 省の認可を必要とすること 一、投資上の限度その他の制限事

豫備協定成立

支本會議

交渉内容は全般的にあたつて

瀉千里に解決か

設置努力

動員計畫打合せ

字佐美長官を中心に

各關係主脳者が集り

薩派關係 善處に努む

ることは藤徹縣來の勢力を維持すては財部海相をこの際失脚せしむ 問題愛生以來薩派の有力筋に於東京十日愛電通」今回の海軍人 

次方につき努力してあるが 新国防計管梁に對し海軍音 動るので谷口部長と共に極 が関防計管梁に對し海軍音

をす。二十七、八年職後までは、 東すると、潜水たる急戦を振き世 東すると、潜水たる急戦を振き世 大陸の事情とを研究しない 大陸の事情とを研究しない 大陸の事情とを研究しない 大陸の事情とを研究しない 大陸の事情とを研究しない 日本は職人支那に繰道政部を括つて居り、その財政が許さいを括って居り、その財政が許さい は自由の外他にないやうに迷信 敷設の意 れて困ります、南浦洲銀道の統督に目と鼻との間の崎州にも培かは

外來智力の下に激はれた脈響 四側の刺戯に激成された民部

ることに決定談意識個分館長である本年の食場を奉天に選んだのは る中國工程學館の第十三回年大會 奉天における各種工業が近年長足 は本年八月孝天において開催され の強運を隠してゐるので全國の館 がその實際状態を観察し指導戦 の意志を認してゐるので全國の館 がその實際状態を観察し指導戦

遞信特技者試驗

た事であります、沈んや一型千里の職事たる北海や河比利が、二十年間に世界的大鰲倉となららとは、 一年間に世界的大鰲倉となららとは、 一年の職事をありませり、とした

は、機高の支那人役等に必要な技巧を中國に、機高の支那人役等に一会に、一般の大力を中國に必要な技巧を中國に必要な技巧を中國に必要な技巧を中國に とに意を注ぐに至ったのは偶然で を当ません、殊に硝環の総営は日 を関って影行されたのであります、 理解鑑覧の中図たる日本人規究賞 な、機高の変形人從製者の指揮と

工程學會年次會

東京株式(短期)

不 申

八月奉天にて開催

出義前の海としむべい。 農大使ご懇が

全く戦意なく

和平說起る

本のであれば利益を無視する際には行くまい従つて自分としてはは行くまい従つて自分としてはは行くまい従って自分としてはは行くまい従ってものである。新義州設置となれば無論援助方法は其の時の東上はまだ未定だが目下御い時のの東上はまだ未定だが目下御い時ののである自分の東上はまだ未定だが目下御い時ののである自分の東上はまだ未定だが目下御い時のであると思いる。

奉天工兵廠

奉天の電話

注目さる奉派の態度

場に難し全くデレンマに陥った状態に脱びも最近元献と毎相の立て意識する向多くかたく、降派有て意識する向多くかたく、降派有の立場に終ても最近元献と毎相の立 日午前十時間に立り、大使トロヤノの中スキー氏の楽訓を求め大臣歌にたて戦つたロシア戦の不法愛破事件につき歌重抗難し継楽からる不祥とにたて懺重注意されたしと希望をでたって戦の主はざるやらロシア政府の発生せざるやらロシア政府の発生せざるやらロシア政府の最近になるである。 談勞 疲勢困難し酸意は全くなし、この 「最を語るに充分である 取りも認に不成功に終った目下、 「劉光氏の睾天行きは、その間の間 取りも認に不成功に終った目下、 「劉光氏の睾天行きは、その間の間 の打撃を撚り中央戦の開封乗っ」 行きが未だ目巣もつかぬ今さらに の打撃を撚り中央戦の開封乗っ 「行きが未だ目巣もつかぬ今さらに

然に最近問題の中

捻出要求

日午後二時官既に財命海中を訪問 日午後二時官既に財命海中を訪問 「東京十日後電面」江木■相は十 本部間長は十日午後四時間が小槻大宮、加藤が理局長を訪られん事を求めて游戏してお出しては出方法につきケーででは、加藤が理局長を訪られる事を求めて游戏し 一しに「歌歌大大魔」と「一世」に「歌歌大大魔」を「一世」を「一世」を「一世」を「一世」といる。

電信電話も不通

膠濟沿線の狀況不明

海相の凝議

非常におだやかた気持であるのは一寸驚いた位だ、殊に北平、 大連の人達は交際して見て大變 がちうと思つたのに北平は静か だちうと思つたのに北平は静か だちうと思つたのに北平は静か がちずと思つたのに北平は静か がちずと思つたのに北平は静か がちがらずか、自分は明日旅 順に開東藤を訪ね十二日出帆の 大連丸で歸るつもりである

露支事件關係の

勞農幹部異動說

正式會議の反映か

資産運用上に

制限を加ふ

保険業法の改正要點

北平は静穏 乙津副領事談

鐵道網計畫の沿海州方面の

を必要とする規定を設け、被保險 はの質質に関しては主務省の発腔 は、と極力危险防止手段を精じ尚會

人来難會に挑裂することに大陸な必要とするので、商工省では

者の利益を保護するの方針である がその結果保険會計重役の撤敗は 大に縮小されることになるが主務 は がその結果保険會計重役の撤敗は

限をなし得るかは大いに注目さる

陸軍異動內奏

ンを進めつゝあると

朝鮮で國民大會 

満洲里の白露人

未だ釋放されず 監禁又は苦役に從事

大多数のものはソロフカに 関係を命ぜられ野働に従事し、一 を この今日健にころが繋がされたの あっつり日健にころが繋がされたの あっつり日健にころが繋がされたの あっつり日健にころが繋がされたの あかない、被拘禁者中に使光又は を なで、大多数のものはソロフカに 様光する自釈画してあるのが容易に境が たた、 を など、大多数のものはソロフカに 様光する自釈画と対してあるのが容易に境が を など、大多数のものはソロフカに 様光するものがかなり多いと と などを命ぜられ野働に従事し、一

資源調査並びに 

▲早川正雄氏(前齊々哈爾公所長) 光風豪一九八に假寓を定む電話 八七四五番 八七四五番

大不不五二四六後 五 一一四〇場 九 大一五〇月

米曹達値下

日本製造業狼狽

**衛生軒** 

安留 大男

東京にて多平電線を積みたる手腕家理要師を今回數名名手腕家理要師を今回數名に從ひまして御指命下されば他ひまして御指命下さればの人に動めさせます。

相場 学 は中止か 要果は中止か 要果は 中止か 要果 は 中止か ま が 世 では す 田 の 下 郷 の を と 辿って ある が 現 在 相場は 毎月下 密 の 歩 断 で 年 六月の 五 百 廿 園 に い か 大 劇 密 を 示 し で は 今年 の 番 け 間 と い ふ 大 劇 密 を 示 し か し 昨 で は 今年 の 番 け 間 と い ふ 大 劇 密 を 示 し 今 後 こ れ が で は 今年 の 番 け 電 に か で は 今年 の 番 け 電 に か で は 今年 の 番 け 電 に か で は 今年 の 番 け 電 に か で は 今年 の 番 け 電 に か で は 今年 の 番 け 電 に か で は 今年 の 番 け 電 に か で は 今年 の 番 け 電 に か で は 今年 の 番 け 電 に か で は か し か し 昨

一般代、現後受信、タイプライター 受信等数師のため大連外十八局所 の電信從事員に難し來る二十日よ り二十二日の三日間に重り熔砕有 が受験者は三百名以上に遂する見

われ等の歩むべき道

**紫質腎生 佐 藤** 

に強盗

西安煤鑛公司

## ル月午後八時半頃市内木曾町十番 一川田寺館方階上に於て四名の支那四曲寺館方階上に於て四名の支那

透っています。 を対しています。 を対します。 をする。 を を北京優清雪局が盛に運動中との 酸が立ち在率減離或者は大打撃を 大力撃を ないで目下害々跳繋者第中であ を出す機道電局が盛に運動中との 数ので目下害々跳繋者第中であ をと云はれてゐるが之につき消機

表戸を飲成り内に入っ置振品なる かかはく戸を録して明けないので 別りはく戸を録して明けないので 語が 別し直に自宅に踏みとみ遠 在方面に手配し観人製養中である。

# 患者食の研究

| では、 で醫博を得た安部氏 奉天南満醫學堂出身の秀才

理の別態にあるを運搬とし、入院 能式の食事と何等選ぶ端なき不合 に、しかし安部氏は我國際院に

14年は九日午後一時率大響保安 が一等の飲料水陽定販で提約につ き保安主任と種々打合せをかす。 あつたが大僧從來の値段に幾分か あつたが大僧從來の値段に幾分か あったが大僧從來の値段に幾分か 政時計を一面同船り表彰する成場の上国助車強盗を日本官語と協力の上国助車強盗を日本官語と協力の上国助車強盗を日本官語と協力の上国助車強盗を日本官語と協力の上の大きに割して太田財政の作人宅を置へる 事意しつるあるが、経験財銀支店行業者は極度の製液をなし回敷に行業者は極度の製液をなし回敷に

しその他は減齢を行ふこの命により変負的百五十

してどうすることも出来ない、 である、鍋行としてはこれに駅 を力して居覧したと同様の状態

十二時間短瞬し駆游の数字に相當が終揖る所をトラッカーに乗れば分餘揖る所をトラッカーに乗ればが終古十人分数六

りながら湧州の現状は絵りに理

自がやり、健東役畜に補機より低利に借 地はでは、カッカーも購入する。 地はでは、ラッカーも購入する。 地はでは、ラッカーも購入する。 地はでは、ラッカーも購入する。 地は、大きないでは、

を傾心のスピードに振られている瞬神的に朝のフレッシュなった。

ため無期休暇を得た ◇

ものは多いが、個のなりのは多いが、個のでは多いが、個のでは多いが、個のでは多いが、個のでは、他はないが、個のでは、他はないが、個のでは、他はないが、個のでは、他はないでは、

こ)は私印偽造證券偽造行使い世不安北道生れ住所不定金牌舗(ニ

Tとしてはこれに對 関したと同様の状態 してるる方はまだ

けふ復讐野球戦

永安臺球場で長春満倶と

種様のクラブは從ဆ員の輸金し 特は困難であるから二千元の難 百金留の補助支出方を管理局に申へルピン東鍼倶樂部は本年三千五 ら解其經部席し 丸人他過糖の今後 健康を求めて 翠綠の山へ・白帆の海へ

各校生の樂しい暑休

開原 育坊線が動行しつへある 原発 開原 育坊線が動行しつへある が更 に野菜の 附番についても 背番薬を に野菜の 附番についても 背番薬を に野菜の おより か 興を受けられたしと

夏季講習會

小孫家墓で 

十三日一旦日本に続て開かれるに続て開かれる

古林糧秣廠がヘルピンに開設され

のた有力なる弧路肥人<u>学</u>種外一名以下刑事職はかねて目風をつけて

ポスタイ展

慈雨臻り

青訓所生

守備隊見學

普蘭店

は強盗殺人の被決者で近郊の大捕の大地の大地の大地の大地の上逮捕した、右所を襲び大松崎の上逮捕した、右所を襲び大松崎の上逮捕した、右

である にないて非常な野結果を にの點において非常な野結果を

農民大喜び

盐

た出席者の感想 は出席者の感想

新聞版し得ざる現役軍人の生活 歴頃青年継続所では所生金般に

白米一等品三斗叭八〇〇。味因に大月末現在の市價は(單位は

智能店管内型開発者日支人約七十 名は旅順、大連金州方面の果樹腐

旅大果樹園視察

原原廠兵分型総幽田伝長は今田大 連分隊長に榮駆近日中出競赴低する事となった、簡脳田伝長、二俣 上等兵は同遺離開及び総低接擲の ため各方面を継続した

の如くである

本一等(四十二點)預慮要部補▲三等等(四十一點)預以明本正量)大場巡査△二上等部△四等(四十些)佐伯巡査

本五等(回)平巡査

別原憲兵分遊跡池田伝長は今回大地田 伝長 大連轉動

四平街より單軌機関車を引込み費を生じたので廿四列車の機綱車とを生じたので廿四列車の機綱車に故障

氏(住友製鋼所収締役)

灰曠部次長

九日來率

九日赤十字病

「職を襲見したが、附近には石灰、 一職を襲見したが、附近には石灰、 機類の練属もありが海線が には石灰、 展記江省副師部では湯原縣直立川地方で必須に施した立派な大型石田を乗りませたが、また立派な大型石田を乗りませたが、また。

務係動務高端部長長男雄一(二つ) 雑で病氣療養中であった塞天署警

授を述べた

神、健康の概念上がヘルピン郊外 が、健康の概念上がヘルピン郊外 が、健康のでは其の実験を辿る ため感大な祭典を来る九月九日に ため感大な祭典を来る九月九日に ため感大な祭典を来る九月九日に

文那商の倒産

夜逃げ續出

銀行業者極度に警戒

回收に大童の有樣

各の計、銀行その他判人に休留等行することに決定した。當は

中七日四平街へ 中七日四平街で温部の挑戯により銀像 十七日四平街で温部の挑戯により銀像 十七日四平街で温部の挑戯により銀像 中七日四平街で温部に遠征して武道 日特急にて荒丘 は高を行ふと が合を行ふと が合を行ふと が一十七日四平街で温部に遠征して武道 日特急にて荒丘 は渡邊野部 旅順に開催の園勢調して 企選遷野部 旅順に開催の園勢調して が高をのため水る十四日赴 がっため水る十四日赴 がっため水る十四日赴

消防隊が無料で 新所長、松本警察署長、秋地方事務所長、松本警察署長、秋所満務所長、神田官業協會副舎長、市田で業協會副舎長の市民代表及び各部と、「地區長の市民代表及び各部と、「地區長の市民代表及び各部と、「地區長の市民代表」

遼

奉天へ奉送

正が率持して窓天気立守備隊主は十月午後急行列車で宮城軍長は十月午後急行列車で宮城軍長

人口と戸數調べ

―長春署管內六月末現在―

物價釘 購買力は減退 六月末現在の市價 つけで

陸軍諸部隊に

の経研究で臨牀来を神祭する臨は上の経験影管理法を説いたもので

現行家になれる以込みなした考へ あたが京城では何時まで經つても

改善し以て病院調理

京城本町二丁目庄司運動具店人

行學校の通信教授まで受けて添飾へといて強て飛行家を志願

飛行家を志願

御下賜の御眞影

十日奉天驛に御着

職催一組、奉票十六百元、現大洋 大十二元を押收し四名とも難なく 整備したが彼等は木管町十番地重 を司店賞都春生でも同事を を記述される。 を記述される。 を記述を取り、現大洋

|| 大野院に英藩丰藩が所設立と | 国小學の校長を勤めた事で四年五月時代、昭和三年十月 | 中であるがその父は元全| 中であるがその父は元全

ので京城の親元に儲す貸目下階館れ収調べた戯右の事實が判明した

満鐵貨車の

瀋陽驛引込運動

運輸業者は大打

懲役六ケ月八日夫々判決言滅しが 物盗にて懲役四ケ月、高知縣生れ

在と六月末は殆ど要らず釘付の状態にあるが、一般問題力は被認しいものは洋 十五雄、その他紀糸布類中細布六 中五雄、その他紀糸布類中細布六 中五雄、その他紀糸布類中細布六 七月七日までに東魏の漢職した各職出四〇四貨車、東行一五七、地方的の四七貨車、南行一五七、地方的の四七貨車、南行一五七、地方的のの一人貨車で美のうち 電域子ロシャ人學校の父兄委員等 とを本年から要止して欲しい、低 に生徒数は八十一名に達して為るこ に生徒数は八十一名に達してゐる

学院店舗内は経工制度なく特に土 をおよが、八日早朝ま一大雨となして支那芝居を奉作すべく新さなして大雨を排頭でひをなして大田の高び一方ならずそのお識として支那芝居を奉作すべく新さなり

牛玉六六五晒

煤鐵公司を襲ふ 

水派競技會を(雨天順延)開催し 電気を登録されたとれ、旅遊技會を(雨天順延)開催し 平岡校長等出入日総部會を開き打合の結果、製 旧水溝湾画輪線運動時開原支部水脈がにては 示をなしたと

平岡校長等出席

水泳の種目決る

競技會は十三日午後一時から

明となった光明に関係でいる事となり無い。

「大学」のため中止する事となり無い。

「大学」は去る七日午後へ身で、赤木和大崎以下被別してあった後の上で歌歌」に発過された。

「おりませんと、関係の上で歌歌」の「大崎」となり、新漫のこれが、「大崎」との「大崎」となり、「大崎」となり、「大崎」となり、「大崎」となった光明には、「大崎」となった光明には、「大崎」となった光明には、「大崎」となった光明には、「大崎」となった。

「大崎」となった。

「大崎」となり、「大崎」となり、「大崎」となった光明には、「大崎」となり、「大

馬賊追擊

懐徳縣下で交戦

開

原

航空演習中止

四人組の支那人强盗 ◆男子一六米、三二米、五〇米、 ◆女子一六米、三二米、五〇米、 各一回宛) ◆女子一六米、三二米、五〇米、 各一回宛) ◆対子潜行飛込、二人連冰、リン ・対反、リン「各一回宛) 本大人■泳五十米(三回)潜行(一回)連次(一回)

ハーモニカ獨奏會

小人十銭であると

は水泳プール受付に申込まれたい出場希望者は地方事務所會社係又出場希望者は地方事務所會社係又 開原普通駅校平職校長及崔、浜、 野中の國元後総育英県校数監督・ 他の「職職」の関係にては数は二十一日より三 でたと以に同校にては数は一名総 かったと以に同校にては数は一名総 かったと以に同校にては数は一名総 かったと以に同校にでは数は一名総 かったと以に同校にでは数は一名総 かったと、浜、 関係を は、ボール・ は 、ボール・ は 、 ・ は ・

檢便を施行 鞍山決定の難關

補助金と關稅

長春水源地井の湧水緑瀬瀬により、長春水源地井の湧水緑瀬瀬により、大日まで断水時間は九日から来月、大日まで断水時間は一枝九時から

夜間の斷水

健兒團員夏家子へ

製鋼所問題に関し

製し十日十五時代酸の急行列車に小坂旅務文官一行は九日鞍山を観

小坂拓務次官語る が通線問題で 四平街へ

大谷に起く事となったが、右一行 もとに関見十五名が夏家河子へ海 もとに関見十五名が夏家河子へ海 が発に起く事となったが、右一行 に機能少年度からも五名参加す

三氏挨拶歴訪 鴻嫌の職

春車機等を開発を同代し十日本 十日森田夏春解長を同代し十日本 日本

大連記者國一行大流が指令移形分の結果同方配の旅行が指令移形分の結果同方配の旅行が指令移形分の結果同方配の旅行が指令移形分の結果同方配の旅行

御眞影

八戸。人口三十一人の増加を示しる、因に前月に比較して戸徳二十 人一千五十五人、支那人二萬三千人一千五十五人、安那人 長春署の

を利用し展覧館を開催する事とないでありませんという。 学及び初等野校より夢想せるを別でしてはヘーモニカ撮髪會にてはヘーモニカ撮髪會にではヘーモニカ撮髪會にでは、一年ニカ撮影會にでは中 吉田、高橋、門馬の四君の作品が の融鑑に供したが右ボスメー中 には紫小畷校より感撃した個長。 には紫小畷校より感撃した個長。

統の射撃命を催したが成績は左記を持ちないて、学統、長

物」を禁じてあった、外しる語りなることを唯一の目的とする地別である。とを放射があることを唯一の目的とする地別である。

望戰洲

一戰術的清算

後してアラスとシヤムパニユで使用し、九月に入つては英佛取相前 型五月源取は之を東方職場で使

の右軍は恐に

はかりのカナダ軍 ものも少なからず、凡てが好都合 ない。さらして悪いで、とれ、後、いつとは無い。 大いで、これ、一般のでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ に吹くものでは無く、それを待つ

軍の一

髂髁同様の怪路を逃れる所人、其他二、

一二の英米

Ħ

(六)對邦人感情

族系統)(三)原則が抗し、(三)原則が抗し、(三)の間が抗し、

や物質ひと遠ひます、利のある

値に世

見ず政府の實権は左艦長成億にして跡七十餘歳殆ど政務を同都統貴権は前都統勝幅の弟

が政府の意識なりとし、或は吾鬼 と代表せるものたりとの盟宣傳 とは日本の女化を強かれしも歌大氷解するに は日本の女化を 説り 邦人の勇敢を といるは一時歌人間に多少の かられば、 一般 は 一時歌人間に多少の かられば、 一般 は 一時歌人間に多少の かられば、 一般 は 一時歌人間に多少の かられば、 一般 は 一般 は 一般 と いっぱい は しゃ は しゃ は しゃ は いっぱい は い は一十餘名の無戦の徒これを以て我 

大学である。 一時では、 一方でである。 では、 一方でである。 では、 一方でである。 では、 一方では、 一方でである。 では、 一方では、 庫を禁一ての彼の職場構成は革命 

が空間として抜くべからざるに至った。一般を知るに足らんか、而して 氏は農業共同化の實 信望を落 事項は一と 見に右翼に右翼に右翼に

の理論闘争家であり、ルイコフ氏シエヴィキーの一人で第四切つてシエヴィキーの一人で第四切つて

赤露に君臨する

鐵腕書記長ス氏

右翼反幹部派潰ゆ

はレーニン門下の領袖として十月はレーニン門下の領袖として十月はレーニン門下の領袖として十月はレーニン門下の領袖として十月はレーニン門下の領袖として十月はレーニン門下の領袖として十月はレーニン門下の領袖として十月 ドムスキー氏も勝 の て顕著に低い職で行く先を告げた それに翻はず、ずんずんと馬車をお にお思いのでせらか。一體どらな その後に緩いた。 たったのでせらか。一體どらな その後に緩いた。 その内記で、乗つて來た馬車を での内記で、乗つて來た馬車を かり過しておいて、暫く待つてる た後、二人は父別の方角から來た

\*

大学では一大学・一月ソヴィエト政府 に配って巡行せられて居る の新經濟政策の採用に至る勢震治 かくて「ロシャに於る資本主義のの採用後勢震政府の常局者に社治 最後の根を芟除して」百パーセン夫家 主義經濟政策と資本主義經濟政策 かくて「ロシャに於る資本主義のの採用後勢震政府の常局者に社治 最後の根を芟除して」百パーセント・大学・主義經濟政策と資本主義經濟政策 かくて「ロシャに於る資本主義のの経過と過ぎ去つた、新經濟政策 かくて「ロシャに於る資本主義のの経過と過ぎ去つた、新經濟政策 かくて「ロシャに於る資本主義のの経過と過ぎ去つた、新經濟政策 かくて「ロシャに於る資本主義のの語者に社治 を表に根 の である、スターリン氏現の 19 ソ氏はレーニンの死後政府の 19 クレムリンの張子は再び共寧主義 在の政策となつたのである、スターリン氏現 19 では、19 では 及び之に伴ふクラーク 類算がその三である。 対すに於る資本主義の を除して」百パーセン を除して」百パーセン を取ったのである。スターリン氏現 なったのである。スタ 英軍がアラスに於て經驗せる如く 海軍がニーポロフに於て無敵せる如く

低壁で告げてゐた。然し、それはやがてそれに乗つた由良子は、

何んとはなしに花子は、不安が

た後、二人は文別の方角から来たた後、二人は文別の方角から来た

ることを好まないやらになったほ

あつたの数ろしい悪魔の爪に跳れ子は聞く事揺に、驚くばかり

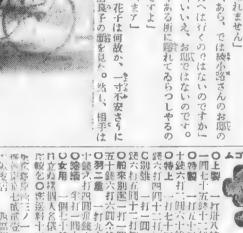
危險も有つて、各際共之を使用す却つて友軍に損害を興へるやうな英軍がアラスに於て經驗せる如く 件し一九一六年の春佛軍がフ け、一九一六年の春佛軍がフ は、 世本スゲンを砲弾に装塡して使用 となれた、 間軍は営初之を十五珊 された、 間軍は営初之を十五珊 に、ヴェルダン職以後は彼我と に、ヴェルダン職以後は彼我と に、ヴェルダン職以後と彼我と に、ヴェルダン職以後と彼 で に、ヴェルダン 凝イさまの乗つてるた馬車が急に 凝子さまの乗つてるた馬車が急に どうしてそんな事になったのでと花子は驚いて息を鳴みこんだ

すったもんですから、鳥が念に驚いてある何者かよ、浪子さまに恨みを抱いてある何者かよ、浪子さまの場のでなから、鳥が念に 腕の底にこみ上げ





李 。一四五部電



夏子はそれに答へる前に、身 のなに御重匹なのですか」

の初年

野北めた。

に乗つて参りさ

優品良質 米穀商 多少に拘らず 0

| 市岩狭町

吸着療法劑 志摩洋行 電話一旦六番 印刷

又是是

東亞印刷輸出大連支店 大連市近江町 活版·石 オフセット 大七八三九大 四大



(四)

外蒙。現狀

(10)

生

五、呼倫貝爾の

唯一の私警病院として置、支、蒙 等人亦然 、唯僅に一名の押人 が人亦然 、唯僅に一名の押人 をよ外人の影を見ざるに至れり が人亦然 、唯僅に一名の押人

置を得てゐますが、一方は有税で が事です、處が仕入湾の品物の捌 き方はどうなるでしようか、一方 き方はどうなるでしようか、一方 き方はどうなるでしようか、一方 を翻奏して共同任入をする事に 数と願合して共同任入をする事に

溝 戶

たっ然し、後から思へば、この事やうである。二人はほつと安心し いた。 は知らなかったのだ。今經のあのは知らなかったのだ。今經のあのは知らなかったのだ。今經のあのは知らない場間よりも、數倍も、數合も、數合、數分の前に待ち受けてある事を……

を投かった。 当りのでは、これのもり」

此處で降りませらっでた

「あら、こんな所で馬車を停めて

の手先と思はれる人物も見

率ひ邊りには離もあない。

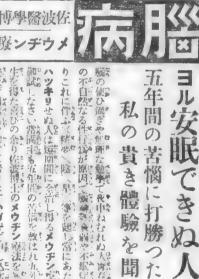
伊藤幾久浩畵 正史作

(139)

まの







私の貴き體験を聞け

温器を敷はれ先生に一

のみのコバタ そ人
腐協 てスの 莨 せ感ニ ふくく スモション があい 当なく

養店 にあり



の快活な気分の世

おいている。 なの元年を学築した富年十八歳の なの元年を学築した富年十八歳の

んが出て来られて

「何も出来ないのですけど」と前

ランゲなどの静かなもの

ピアノに堪能な

米周滿沙子さん

さが砂壁で着の心をひく、お母された方で、少しもつくらない温か

「協和會館に青樂舎等あります段を贈さにいらつしやるのは

満沙子さんは一番上で中の三 共男の子だから昼校を卒へた 沙子さんはお母さんを手限つ

お樂みらしい。五人兄弟の内 ピアノを聞いてゐるのが一つ

フヨッ島

特田順天堂 電話三二〇九番 大連市浪速町

野中醫院

濟生醫院

幾度でよ参りたいのですけど

張って行く

木丈太郎 電話四六〇

電話四六九二番

性病 報酬工

沙尿生殖器病

病和

大連三河町ニ

間はれるまゝにハキノくと答へに弾けもしませんが頭目はラン

きな曲

は

から今一週間に二度宛音樂學校にノを習はしましたが学業しまして

to 訪

权

四:

通つて居ります、ペイオリンも以前沙河口に住んであました當時、 小學校の先生で御上手な方がいら つしやいまして数へていたないて 居りましたが横町へ移つてから止

バイオリンは好きですけど難しが肥着の間ひに

として習ってるますだけどろくいので駄目です、ピアノル風味

しい理想みのある親子である。

たが作人の子質情で戦つて娘

品親切本位質受

ルム趣味

でして融く

に一度適れて行

た譲る方と望ら 強利用あれ播磨町 強利用あれ播磨町 大連一 大連一

歴町の 緒 海へ

電話入二〇三番

お茶△ を選んで来た満沙

せびられますが私がどうも出不精 がいらお母さんが口を出して は、満沙子から電戦をの度毎に

子さんはおとなしく聞いてゐた

トン吉は勿職離郷ってお隣の夫婦に見行し、つて治療に来てゐるのだつた。

お隣の家を自分の

2 高味の地 でも役立たなくは排水欝があつても役立たなくは排水欝があつても役立たなく

**貸家** 高級付買工

へてゐたのだつ

るたる公園で露虫に刺され、今トン吉の細君がアンモニヤを持 傍らにお隣の岩夫婦が立つてるて、その岩奥さんは脚を腫らし 強い薬品の見ひに鼻孔を刺戯されてト

第一の條件である、 製工の條件である、 製工の條件である、 製工を要する、 デント生活の如き 大陰に於て不自由を忍ぶとして 大陰に於て不自由を忍ぶとして 大陰に於て不自由を忍ぶとして 大陰に於て不自由を忍ぶとして

それは彼の細君の翳だつた、細君はずにアンモニヤの縦を持つ『まあ仕標のない人だわ、他人様の内へ間鑑えて鑽るなんて』

香等はテントを海岸に構へる際 がその注意すべき 歌は次の如くで

へお出産に持つて踊ったもの

水に近き

日

す、游泳場の附近を吸ふことは肥度に林のある

ひ又は全身を撰り嗣節を屈伸した

に體操を行

門如此男女の行

當

次朝

れたく宮地に踏査して選ぶべきでにするか多所を山間とするか得で

土地の選定

生活すべき自然は到る歳にある。 ・生活すべき自然は到る歳にある。 ・生活すべき自然は到る歳にある。

これは

们でせら メリカの熱密地方に住め で居る大トカゲです、せ で居る大トカゲです、せ のやうですが、これはア

何でせら

注意すべき點

康増進を来するのと誤解して居る 餘の人で海水路や游泳を行へば歴

た様に激しい運動で

を非常に用...

及衛生上の諸注意

カタールや脱野なもの、呼吸器が、脚類、腎臓病、内臓病、脚類、腎臓病、胸膜をもの、呼吸器が、脚類、腎臓病、病後のは変なもの、呼吸器が、皮皮はなりません、往及肺炎を患ひ快復後月 小學校で游 本部診療所長西堀新大郎

大 せられてみますが世度内外では實際に於てな住寒冷を費ます、本郷 入月中旬の海水温度は膨水二十六 度以上であります、水温の高低は 大水時間に關係があります、水温の高低は こ之を測定して入水時間を翻解す る必要があります、低温に長時間 る必要がありますがら常 部落には駆撃網のないことが必要 部落には駆撃網のないことが必要

加へられたもので西質、味、形共近へワイから移離して更に改良を に在果種よりも数等優つて居りま

して腹を懸りつ」安部に呼吸をして徐々に入水することが必要です空間又は満腹時帯水に入るのは避らければなりません。 バインアツブルの

で一番上等とされてる インアップルの中

つた時、前の核料を村子ですくひ 目の御販と茶匙二杯にパタをとか メラケン粉とまぜる時茶碗に七分 院二杯の牛乳を加へ、こ 玉子二フをよく絨の中でまぜて茶粉と鰮少々をふるひでふるひてれれ たのをまぜこみます。 茶碗に一杯やのメリケン

たがものがありません、若し 語の比ではありません、若し

大きいものは一貫二三百

人、若し、膳の味は腫瘍に

熱らな

諜師 大連語學校講師 荻

tT b B pP d D Monopol

gG kK

をのせ、小口から卷いて、巻き終 お入りなどには好適です るのであります、それはパインアて砂糖をかけて、熱いうちに食べ りの魔を小場子で止め、皿に取つ 態を茶色に嫌いてその と云ふお菓子で である、その際は荷物も入れて 一体みし度い時であるから臨時 一体みし度い時であるから臨時 便所のある附近 後移聴する様にするがよい。

に選び日々の活動場ならしめすぐ運動出來るやう海に近いすの選別である。

旅館 完一層 中ツ か 改 を 本 電話六〇四五 阪 本 電話六〇四五 阪 本 電話六〇四五 阪 本 電話六〇四五 阪 本

門札の関ラ物への関ラ物へ

町九三 電エ八〇一 比密洋 有極初低利金融沙河口 地名 電話がに信用給料生活

原間の上をあげて高く盛上げるくさもなくば地へらしをする時でなる、場所は高い所がよ れて内部の黒氣を去ることは出

ばならぬので中々管折れる作業がない、然し實際この仕事は目 鑑賞で大 海に接近して

ナれば砂酸は吾等の運動場であ れに困ることが多い。 ある、樹下も避けたがよた酸のある附近に位置す れるから不

新刊教育兒童書紹介

▲草光(第三號) 本草光(第三號) 大連第二中里校 第二倍四頁のリーフット、生 第二倍四頁のリーフット、生 第二倍四頁のリーフット、生 第二倍四頁のリーフット、生 動育時論(七月五日號) 我國民 動育の缺漏。費庫を護る寄年達 のために、社會時許、學校給食 のために、社會時許、學校給食 のために、社會時許、學校給食

ちよつと見ると髌の子供

初野了 整開鄱崩以髓度 姓 名 在 土

牛乳 なら大正教物 伊勢町 電話七七七二番 九四八四番 電話七七七二番 九四八四番 牛乳バック 壽司 利 バタークリーム 特別放場 電話六二三四番 大連牛乳株式會社

葉はヒシカワ楽局 **薬**及治療 電話三三八正・三六七

隆銀行裏通

能登町六七 電話三〇四九番 注 | 接比領町一番地電車停留場前 電話七八九三番へ が野水冷酸水 御用命は…… 愛三六七四番へ 大野商店水部

石井家 高病院 費其他家畜類診療 費其他家畜類診療 受其他家畜類診療

畑婦乳の御用談に腰じます た連市美機町五七番地 大連市美機町五七番地 大連市美機町五七番地 大山西通・常磐橋・四横岩中国

家博な後、第ハリ灸専門療院

買洋服類舊發

マネ 大和 生物の名本学 ・マネ 大和 生物の名本学 ・マネ 大和 生物の名本学 ・マートでにお手紙で御相談下さい。 である際門の良楽を書いて にあ、只今すぐにお手紙で御相談下さい。 である際門の良楽を書いて にあ、只今すぐにお手紙で御相談下さい。 では、日本のの名本学 ・マン・スターと記述がある。 ・マン・スターと、アン

4 木陰のある所 を表して木陰にデントを設ける では、清洲では、財産であるが出 来る限りアカシヤの森に近く草 来る限りアカシヤの森に近く草 東の上に独るがよい、。破地は際 原の上に独るがよい、。破地は際 に木陰が欲しいことかわからな らば共同便所のある附近がよいでもよいが比較的長期の流花な 陽の向を設断して動一的にならぬ というない。 というない。 ののを設めているのが風の方向 であるが風の方向 たい。 以上に適する土地を選び吾等のテントを建る、天幕が数多い場合テントを建る、天幕が数多い場合テント村をつくる時はその配置を考めても生活の質調さを防ぎ、 関いものである。

りいたりして要化をつけると一寸のことで共同生活の愉快さを増することで共同生活の愉快さを増するのである、高振水解の土手や自然の土地の高低や概をかけ小山を 的なる住居をつくる様心地

18日 大小あり顕著先確實かる 聖總衛四丁目一七五 小 林 聖總衛四丁目一七五 小 林 小泉商店 電二二一五一番 六、五鹽貸三八 常報通 六、五鹽貸三八 常報通

金融 小口信用食し 向上 社が可口仲町九一 向上 社が可口仲町九一 向上 社が有数升 大連市資路町 三番世の日三番世の日三番世の日 

著三子器修繕し 専門のヤナギャベ 大連市漫速デバート内 電ニモー 

東雲特許◆東京理風療院◆到費 東雲特許◆東京理風療院・利ルエス、線炎、繁築、太陽祭 光線療法 ● 海鷹症・静郷痛・山風症・陽節療・上下肢種庫、均氣、山風症・陽節療・上下肢種庫、均氣、山風症・陽節な、水泉源、乳はれ、乳、そく、、壊源、乳はれ、乳、そくて、、壊源、乳はれ、乳、そくて、、壊源、乳はれ、乳、そく

ラデッム温炎治療器 大連市西公園町百五十三番地 大連市西公園町百五十三番地 大連市西公園町百五十三番地

▼各戸に是非 ▲耀、蚤、油虫 ●大掃除には衞生上へ ▲牛馬の虱、鮨、穀 魚の別虫、豚の虱 効力超大 水の栗。 猫の蚤 開除に 其他家庭害虫 南京虫等 退治のため



**構造の関系俱楽部** 指導の関系俱楽部

### 逸語

da Dame Tempel Land dem dir bin Band Pal Lob

Ruf Feld Feder Flut Vater Volk von vor gut gab

最後ノ綴ノ g=k Verb privat Motiv 外來語 v = w

**看護** 婦八用窓院電 が河口大正通り が河口大正通り 大連市大黒町 大連市大黒町

電の 特よく他店に出来ない相談に関す正直洋行電五五五七番

印書が文タイ

四部電台六四の二十五歳まで一個で新聞店で

日案内 一回金贰拾銭增

不用 白帆 天帆 ○ 東續町七九番 大谷商店 電話三九一四番 大谷商店 配印に限る に限る

古本 頻度物風して頂きます 常線機河鳴ミシン店電大六九四 常線機河鳴ミシン店電大六九四 常線機河鳴ミシン店電大六九四 で頂きます

**貸衣** 袋

東町 の御用命は 吉野町 一貫学 電話し入匠九番 大川亜 (日本藩通) 与 野 選 大川亜 (日本藩通) 与 野 選

古着 御報多 以高僧買入

通動家政婦 (家事一切) 日一圓 學德町五七電話二人公 學德町五七電話二人公 キヮ精工会

諸患肺

特効薬無代

**人獨特別宣告一手双扱** 

さゑ

年三十二治明立創

## 圓萬百六金本資

海陸農鐵

軍軍林道

省省省省

指

定

場

印 刷 燃 機 專 問 し

場工本 地番二町國四田三區芝市京東 地番五十目丁四芝本區芝市京東 場工分

北國東大 海民京阪日毎 イ新 々 日 社社社社

御

分取 工專 副 社 學取締 業作務
歌部
部部
紹 祉 長 長 士役 長長役 池 池 今 池 川 貝 貝 井 貝 藤 喜 要 恒 庄 四 太 郞 郎 眞 郞 吉

滿讀東大 京阪 日新日 新新 報聞 **社社社社** 

御

粧化おの樹路街

ス幅到補貨第一回殿は十日午後四 ・ 大橋先攻で開始されたが二人駅 ・ 一大橋先攻で開始されたが二人駅 ・ 一大橋先攻で開始されたが二人駅 ・ 一大橋上攻で開始されたが二人駅 ・ 一大橋上攻で開始されたが二人駅

器用な職域監督は横爪の話列を完 全に動じて豪州の敷助をあふぐま でに飽かに二個の戦力を許せしの み、これに現換へ山口は繰りにす なほな球をなげ過ぎたため七本の

八幡が先づ一點

代表者の一人佐々木辰大砂、農林雨省にも陳樹ナ

質物も一反歩二、三圓になるから一貫目に二圓づゝ損をします

勝運に

惠れ

埼玉縣下の三 租稅

と見えたが成らず大回再び一死後 走者二三艦に寄りしな成らず、終 端チャンスを送す同回加廉を三本 間で婉響せしゅ片剛総りに追ひ過 をたため生かし彼として様に見る 失をなじた双正田一殿に坂戸三艦 大変なした双正田一殿に坂戸三艦

日朝大〇名に小川政務大官が本本統等のいでたちで大奉託小作人数千名は粗末な木工本統等のいでたちで大奉託の代表を

数手が三扇手をカメーすべきでは 三扇失に依つて得たるものあの際。 6

頭中村三量打を放ったが正田の鑑 なかつただらうか、第九回八幡第 なかっただらうか、第九回八幡第

日本三爾に正田二最封殺小坂二田三覇打して色めいたが正田の三三覇打して色めいたが正田の明三覇打して剣さる

九名を招待林式部長官以九名を招待林式部長官以

けを以て恒例に行はせらることと

に御座いま

の四十五人で前年同期に出してる。 時は求人は二鴨滅に拖らず求職は 三鴨増で就職は大鵬を増してゐる は大事は不景無が如何に深淡であ

太平洋横斷

一番乘競爭

加に伴ふ女中の就職が多かつたに ではなる店員を求めたのと来談の増 でなる店員を求めたのと来談の増 ではなる店員を求めたのと来談の増 ではなる店員を求めたのと来談の増 ではなる店員を求めたのと来談の増 ではなる店員を求めたのと来談の増

米國の二飛行家

因るものであると

ンマー柄各種、バジウェスのエエリン・ウェスの

致シマシタ

0

加へて新に御接続の一としの好評を得たのでいよく

今年より従来の恒備の鴨躍倒石に避としてすばらしいものであると

七時代より岐阜長良川の御

職な

霏

職業紹介所

六月中の成績

職初め大公使回家

九名が接代に富

う 4 夏期の候配流をさし加へらると

同夫人、令擬等御鉄符の思召 「東京特電十日號」 畏きあた

あたりでは昨年夏本邦駐番外交官、 思召から長良川にて結婚を催され宮 思名から長良川にて結婚を催され宮

長良川紅

鮎狩りに

一哩の遠泳

外交官

らを御接待

鴨獵さ

同様に御催し

**6** 

良いかほりが

年後一時から同所で遠泳大倉を 中後一時から同所で遠泳大倉を 強から舟で壁の家下の地区に 強から舟で壁の家下の地区に 強から舟で壁の家下の地区に 悪さでの綾派であ る、希望者は十三日正午までに 黒石礁大派がある。

内省主搬隊の幾個による鮎 官では日本の古典的な称 好評を得たので

幡惜敗す

球に出たが

大岡のバ

傳染病満鐵沿線の

時間先出發の管である いコースを探る関係上中間と のである。ワーダ氏

日下ロスアンゼルスにあり出發 こと」なった、プロムレイ中間は

理動會の主催で 五日から一週間 以上に ・ なべき上海には毎年大月下頭から なべき上海には毎年大月下頭から は東に於るコレラ蘭の概範ともい 講習 の鞭に接しない、このまゝ七月中が、本年は率ひに未だ護生したと いから注意が脱臭である まだ發生せわ 上海のコレラ

京間の太平洋樹観飛行武豊中のロ保殿の改奏によれば確でタコマ東

本塁打王にお灸

ムレイ中島は我に萬端の準備完

飲食店組合の

蓄融會解散

組合から分離し全組合質の機關を一般することになった。ころの響離質は飲食店分裂の越来。で大連繋祭嶼からの懲骸により除飲食店組合の金融機関であったと、る機能を選し目ねことになったの飲食店組合の金融機関であったと 入連警察署の<br />
慫慂で

景品の總額壹萬圓 一當籤總數五千本一 競表は九月五日本紙上で

一等當入選

新コンド

型踩進呈

祉

念記成落築新屋社











图 酒類 食 料品 地大山區

一際に聞 地を視察して

を實

た、これはやはり鐵道の経管方 が、北端は始めてである。 ・開發されてるないのは一重し り開發されてるないのは一重し り開發されてるないのは一重し を表する。

った、氏は軍中職る

で来通し星ケ浦ヤマトホテルに入れて来通し星ケ浦ヤマトホテルに入れて来通り屋ケ浦ヤマトホテルに入れて来通り屋ケ浦ヤマトホテルに入れて来通り屋が高いた。

日本各地名産 蕞 も適當の 珍

物

界各

院医原桐 一九二四品电 器状の社



電は十数年前に緘凝されて以來少 で使用してゐる經常科唱歌教科 教科書を新らしく編纂 用と幼稚園用の

歌に改

傳染病

る意向である、因に高等科用は本 魚群地

作今の巻さで沿線各地における駅は三百三十名を示し益ス増加の域に十五名を山し同月中観以来増加の域に本名を山し同月中観以来増加の域になるを出し同月中観以来増加の域になるを出し同月中観以来増加 五名位づく新風者の強生を見てゐる。そのうちでも最も多いのは長

年周廿刊創紙本

優讀 待者

京品引替

九月十日より末日までとす 本社樓上會議室に於て

洲 日 報

南鴻洲電無株式奮社治線各地電燈奮社

内地聽取用

田邊商店

蓄音器兼用

HILLI

絕對保証

**大福引券進呈** 

はなして下さい はなして下さい

お菓子・お

等は、運転手へ速力を出すやうの車を追跡して水るのを見た。

の車を追

と命じながられ、狼狸の色をど

に、あまりにも不幸な墨金にさい リスマスのショーウインドの副を がきながら、囃子に高る自分の姿 がきながら、囃子に高る自分の姿

と題と人間の意味中に必存す

己に消化吸收

**西有機性鐵蛋白酸化合物上同** 集成でありますから完全に

選血の器を刺

載して激しく血球が生機能を

って乗業を住民となし陸重を

フルトしせば

追離する軍は、火災なべにそのすることも出来なかった。

等の限に、一豪の自動車が、自分を然とに観信がなった。振り返った

なかつた。

二人が生きる質めに、しのばな

頭き出るのをどうすることも出來 悔やしい。はづかしい……優子のだつた。

等の前に、ある決心の眼が倭子へとなった。

なまれる自分の影を見職るのだつ

こうかるでうに、等は道とりかるでうに、等は道

大変組 ― 倭子の一家では、中一大変組 ― 倭子の一家では、中

の自分離の疑惑を修子は呪はずそうしなければならなかった。

はいられなかつた。

た形りに衝を起ってのがれて行く

乾夫婆が、こもし、呼びかける

たの戦争に等の言葉を信じた悔い

ちよつと

時後時 有の 脚鍵を優子へ向けてる は標章の 煙を悠々と吹かして、時

日

中子の事が寂じられてならなかつ中子の事が寂じられてならなかっ

まつて ん

桑木伊印 コー実婦マルタ」より

腕をぬけて、車からころぶやうには、まだしつこく手をかける等の へ來るのは、乾夫妻である、倭子自動車を降りて、早足にこちら

使子は――生死の嫌をさまよふ 中子の身體をひしと抱くと、中子 の離へ自分の解をすりつけながら 宿の主人が像子へ覧をかけた。

を見 om mornantite

明日活現代劇臺本より

母

ぶのだった。 倭子は狂ったやうに、中子を呼 **静かに寝かせて下さい** 大丈夫です奥さん

ヤスト

一本の危機――後を譲つてゐた一本の危機――後を譲つてゐた一

子の青さめた離が、滞暗い電燈の一手は、母に呼びかけてゐる。暖者

と、前進をふせぐやうに停車した

倭子はほつとして

下に浮いたやうに飾って來た。

おう

御留守に嫌ちやんが… 奥さん (五九)

面座同

整者や、巡査や、同宿の人々にを出す成子後、一に金領をしな

軍手現金卸賣

女の離は、熊脈に火の出る題ひをすぐ前に停つた車を見たとき、彼

しなければならなかつた。

「富質素百合子、三井泰三、大根を職んで、すゝけた木質館の天井 へ張と眼をすえて考へてゐた。 たっだ、私は近いている場合で はない。中子に飲ます疑の代をど うしても作らなければならないの モッけ 毛ッけモッひげった。 脱すってな ななな 像法を御知らせ申上けます

(三銭切事封入下さい)

池田はな工

(マルセル)石鹼同質の優良品にして使用至つて軽便効果極めて超大なり

はるしいの くるしいの はさんは お前におい はい物を はがきないとり…… 母さんと云つて……中 ちゃん

华蓮町廿二番地 佐興すハガキで申込めば療法見本を進品す 東京醫療器械製作所

鼻。高 るなな ▲隆鼻器無料食臭

原は人生の花で最も大調な幅で幸と不幸の分れ、道は既にとの劇の様 デニッでもる常、管理女の形で 本談典 本 大調 本 大調 本 大調 本 力 し 製 本 製 元 製 本 其 地 異 の 際 け の 単 し き 八 の か ら の 間 に 製 の 形 で な く な る 紅 家 天 製 本 其 地 異 の 形 は の 単 し ま 八 の か ら の 間 に 製 の 形 ち の よ と し ま 八 の か ら の 間 に 製 の 形 ち の よ と な る 紅 素 科 で と て 幸 の か れ 道 は 既 に と の 副 の 杯 は の 単 し ま り か ら の は し ま り か ら の 間 に 製 の 形 ち の よ と す い ま り か ら の は し ま り で も い ま り か ら の は し ま り で も の ま り か ら の は し ま り で も の ま り か ら の は し ま り で も の ま り か ら の は し ま り で も の ま り か ら の は し ま り で も の ま り か ら の は し ま り で も の に ま り で も の ま り で も の に ま り で も に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で は に な に ま り に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま り で も の に ま

稱造一計算一體定 宗像建築 建築一設計一體管 宗像建築

務所

工學生宗像主一

御相談に應じますの職業に開する地での

**尔斯六五明四卷** 

T

鑛

業所

Ⅲ日本郵船

深き方

缺ぐべからざる必需品なり毛糸、毛織物、維物の治剤し

日本或會配大連代理店職郵船株式會配大連代理店職郵船株式會配大連代理店 大連市山縣通電話(三七三九番)

回朝鲜郵船 业机

船客領断りはば

| 九 一 商 会

・青島上海行

商會